I-O DATA

AV-LS700B

取扱説明書

◎設置業者の方へ

『準備する』を参照して設置してください

◎学校の先生方へ

『使ってみよう』を参照してください

準備する

設置する →

リモコン →

使ってみよう

LAN

サーバー内のデータを再生する →

USB / SD

USB/SD カード内のデータを再生する →

カメラプレイヤー

ビデオカメラの映像を再生 / 保存する →

B-MANU201394-01

もくじ

はじめに

安全のために……3
箱の中には……5
各部の名称 / 機能……6

準備

設置する……8
その他の接続……9
リモコンを準備する……10
テレビをリモコンで操作できるようにする / 電源をいれる……11

使ってみよう

LAN
ネットワークにつなぐ……12
サーバーを設定する……13
サーバー内のデータを再生する……14
USB / SD
USB/SD カードをつなぐ……16
USB/SD カードのデータの再生をする……17
カメラプレーヤー
ビデオカメラ・ハードディスクをつなぐ……18
カメラ /SD カードから再生する……19
カメラの映像を保存する……20
ハードディスクに保存した映像を再生 / 削除する……22

画面の説明

メニュー……24
設定メニュー……26
動画再生時の操作と表示……30
音楽再生時の操作と表示……32
画像再生時の操作と表示……34
カメラプレーヤーの操作……36
表示モードを変更する……38

ファームウェアのアップデート……40

困ったときには……42

資料

サーバー（パソコン）の設定……46
Windows Media Player 11 の設定……46
Windows Media Player 12 の設定……50
Windows 7 でリモート再生する……52
製品仕様……54
お問い合わせ……56

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

🚫	禁止
❗	指示を守る

⚠ 警告（本製品全般について）

❗ **本製品を修理・改造・分解しない**
火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

🚫 **ぬらしたり、水気の多い場所で使わない**
火災・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。

🚫 **じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない**
火災・感電の原因になります。

🚫 **本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**
火災・感電の原因になります。

🚫 **雷が鳴り出したら、本製品や電源ケーブルには触れない**
感電の原因になります。

❗ **煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める**
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

🚫 **故障や異常のまま、つながない**
本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。

⚠ 警告（AC ケーブルについて）

🚫 **添付の AC ケーブルや接続ケーブルは、他の機器に接続しない**
添付のＡＣケーブルは本製品専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因になります。

🚫 **AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない**
発熱、火災のおそれがあります。

🚫 **熱器具のそばに配線しない**
ケーブル被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

❗ **決められた電源・ケーブルを使う**
所定以外の電源およびケーブルで、本製品を使うと火災・感電の原因になります。

🚫 **電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない**
電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。

🚫 **ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わない**
火災・感電の原因になります。

🚫 **ゆるいコンセントにつながない**
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

⚠警告（電池について）

電池について、以下のことに注意する

故障、発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因になります。

●指定の電池以外は使わないでください。
●火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
●（＋）（－）を逆にセットしないでください。
●（＋）（－）を金属類で短絡させたり、はんだ等を使わないでください。
●ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばないでください。
●使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他、今までと異なる場合は使うのを止めてください。
●容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。
●電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出してください。
●電池を充電しないでください。

電池を乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す

漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

●液が漏れたとき
→漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。
乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
●液が目に入ったとき
→目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
●液が体や衣服についたとき
→すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。

⚠注意

本製品を踏まない

破損し、ケガの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

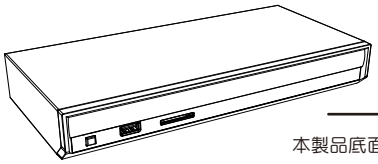
⚠使用上のご注意

●動かない映像を長時間映さないでください。
本製品につないだテレビやプロジェクターに映像が焼き付き、陰のように画面に残るおそれがあります。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックを付けながら、ご確認ください。

□ 本体 [AV-LS700B]（1 台）



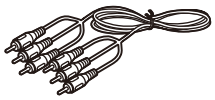
本製品底面

ユーザー登録をお願いします

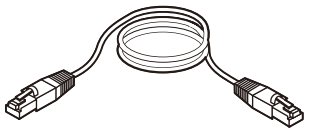
① ユーザー登録に必要なシリアル番号(S/N)をメモします。

② ユーザー登録ページでユーザー登録します。
http://www.iodata.jp/regist/

□ ＡＶケーブル　[1.5m]（1 本）



□ LAN ケーブル [2.0m](1 本)

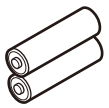


□ 多機能リモコン（1 個）

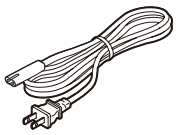
□ 多機能リモコン用乾電池（2 本）
動作確認用乾電池 [単四形]

□ シンプルリモコン（1 個）

□ シンプルリモコン用乾電池（2 本）
動作確認用乾電池 [単三形]



□ ＡＣケーブル [1.5m] (1 本)



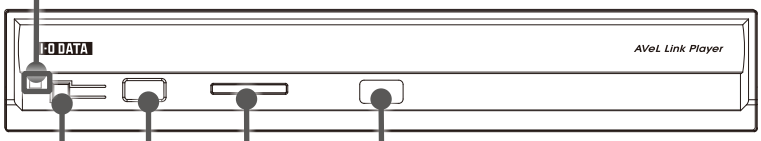
□ 取扱説明書 [本書]（1 冊）

各部の名称 / 機能

本体・前面

電源ランプ

消灯	電源コンセントがつながっていません。
青	電源が入っています。
赤	電源が切られています。



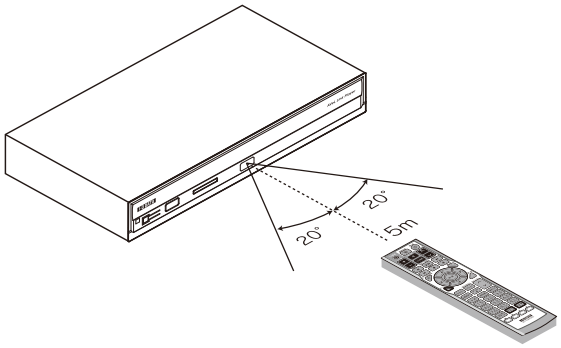
リモコン受光部

SD カードスロット
SD カードを挿します。

USB ポート
USB ハードディスクなどをつなぎます。

電源ボタン

リモコンの操作範囲

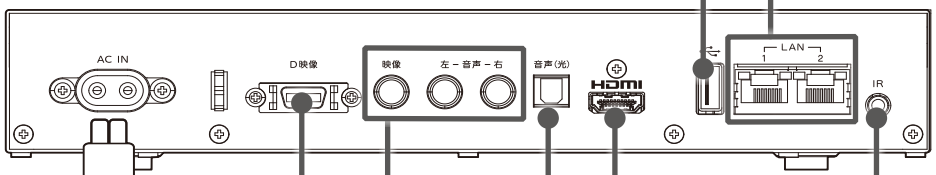


リモコンの受光部に対して約５mが動作範囲となります。
※全ての環境で５mを保証するものではありません。

本体・背面

USB ポート
USB ハードディスクなどを
つなぎます。

LAN ポート
ルーターやハブにつなぎます。



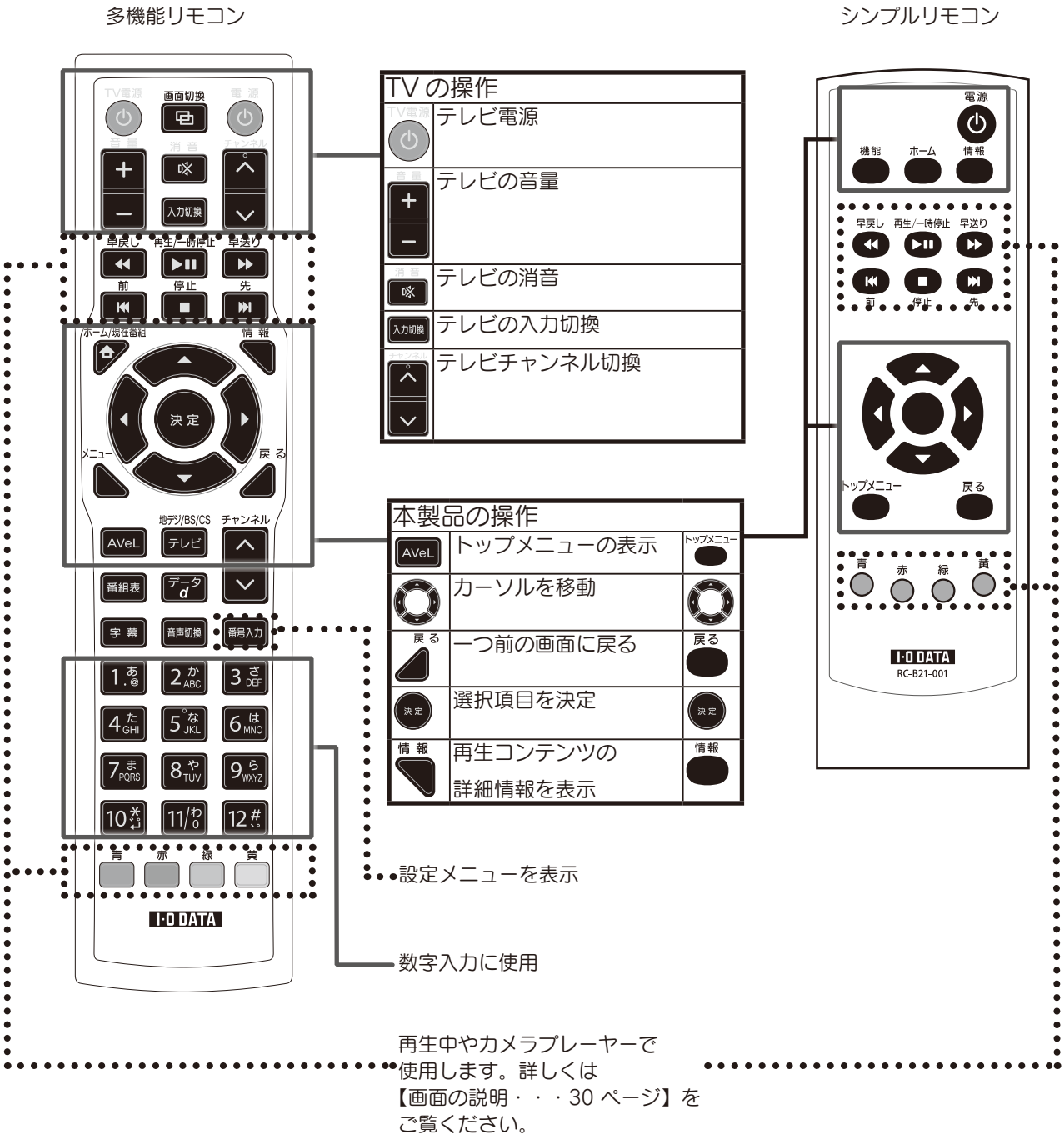
ACケーブル（添付）

光デジタル出力
アンプやスピーカー
につなぎます。

外部 IR 入力
リモコン受光部延長ケーブル
(別売品、型番：AV-LS500(IR)) をつなぐと、リモコン受光部を延長できます。

D 端子　映像音声出力　HDMI 出力
テレビやディスプレイにつなぎます。

リモコン



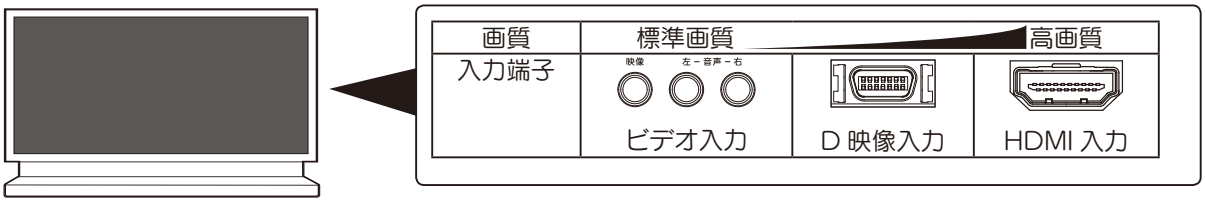
再生中の操作について

再生中に表示される情報や再生モードの変更などの操作については、【画面の説明・・・30 ページ】をご覧ください。

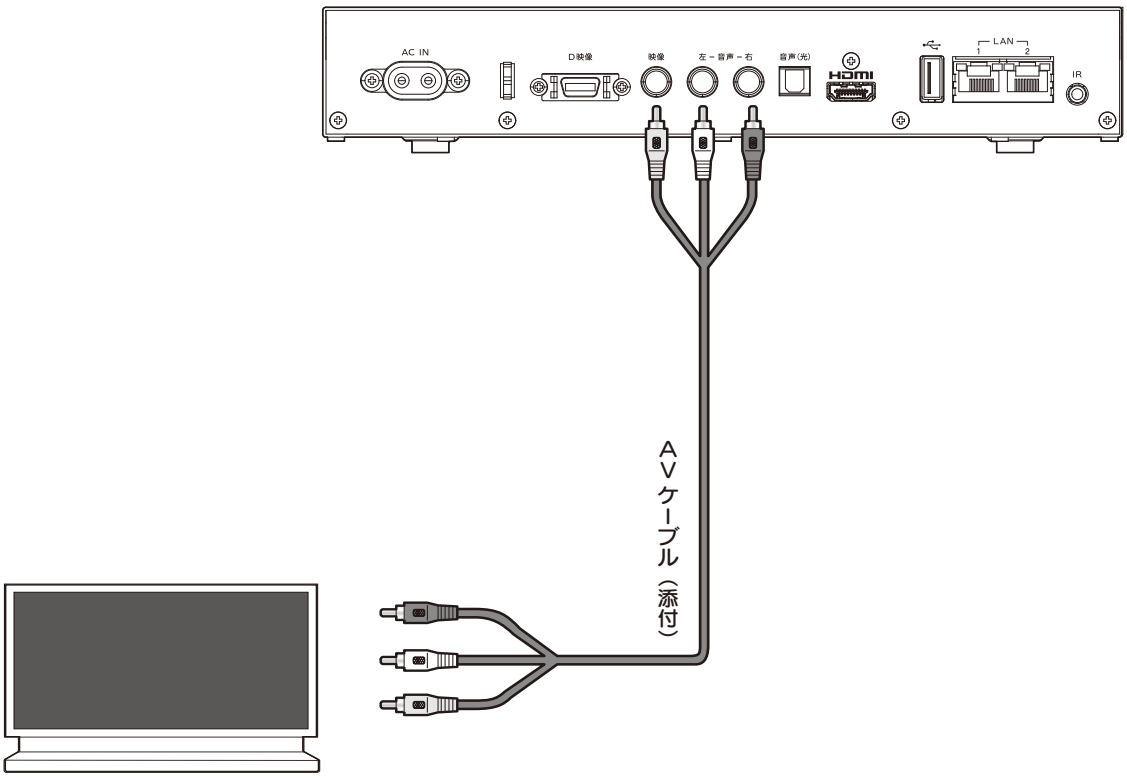
設置する

入力端子と画質について

テレビなど背面をご確認いただき入力端子の種類をご確認ください。「HDMI」「D 端子」等でつなぐときれいな映像で楽しむことができます。



AV ケーブルを使用してつなぐ

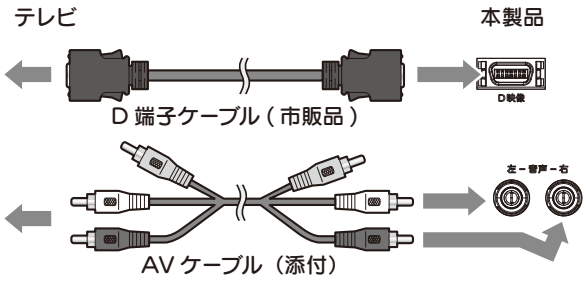


HDMI ケーブルを使用してつなぐ

PCディスプレイへ接続する場合は

スピーカーを搭載していないＰＣ用ディスプレイをＨＤＭＩでつないだ場合、音声が出力されません。
その際は、音声（左右）端子にアンプ内蔵スピーカーや AV アンプ等をつなぐことで音声を出力できます。

D端子ケーブルを使用してつなぐ



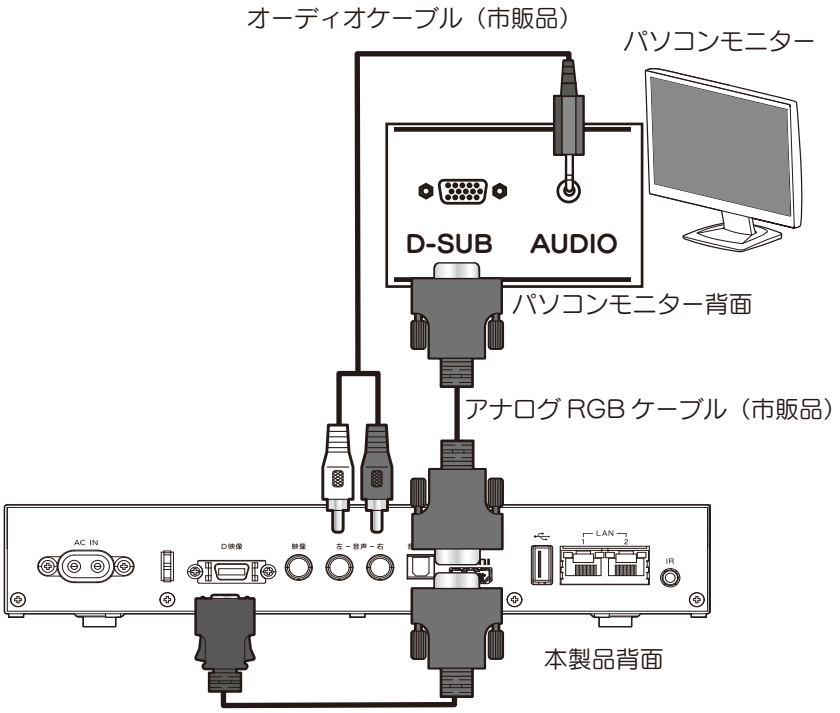
D 端子や AV ケーブルの出力について

HDMI ケーブルと同時に AV ケーブルや D 端子ケーブルをつないだ場合、HDMI ケーブル側に映像を出力します。
そのため、AV ケーブル側や D 端子ケーブル側には映像が出力されません。

その他の接続

アナログ RGB 端子でつなぐ

本製品の D 端子とパソコンのアナログモニターを弊社製品ディスプレイ出力変換ケーブル MA-D2A を利用してつなぎます。



注意　ケーブルの取り外しについて

・ケーブルの接続時や取り外し時は、必ずＡＣケーブルを抜いた状態でおこなってください。

注意　出力信号について

・他の映像端子（コンポジットや HDMI）と併用することはできません。

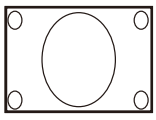
・アナログモニターに出力する映像の解像度は 800 × 600 の固定となります。

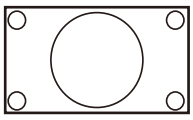
※お使いのアナログモニターのズーム機能やワイド機能などで、最適な表示になるように設定してください。

・アナログモニターに出力する映像のアスペクト比は 16：9 の固定となります

※スクエアタイプのモニターの場合は、若干縦に長く映像が表示されます。

ケーブルの色を間違えないように注意して接続してください。


スクエアモニターに出力した場合


ワイドモニターに出力した場合

アンプ、スピーカーとつなぐ

音声（光）と音響機器を光デジタルケーブル（市販品）でつなげられます。

Rovi(旧 Macrovision) 著作権保護機能について

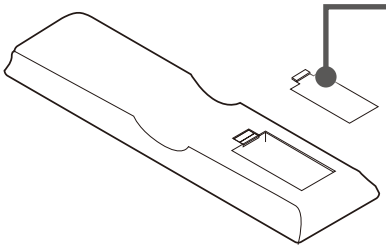
1. "If degraded picture quality is observed while viewing copy-protected VOD movies connect the set-top box directly to the TV set. Do not connect through a VCR."
2. "Do not connect the unit through a VCR. Video signals fed through VCRs may be affected by copyright protection systems and the picture will be distorted on the television."
   or
3. "Connecting your TV directly to the Audio/Video output of your Set-Top-Box will assure a more vivid picture and enhance your viewing enjoyment."

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。 また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。 著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

リモコンを準備する

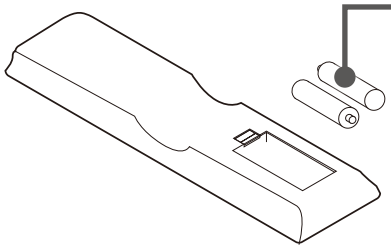
多機能リモコン

1



電池カバーを取り外す

2

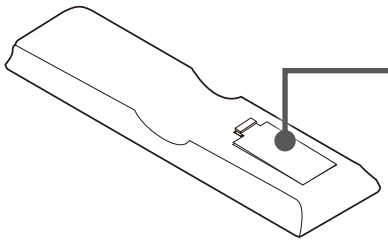


＋、－を確認し、単四形電池を入れる

注意　電池の取り扱い

・添付の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
・単四形乾電池以外を使わないでください。
・交換の際は、二本とも新しい電池にしてください。

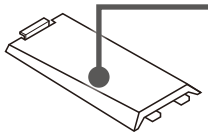
3



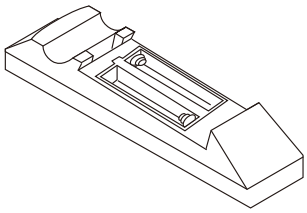
電池カバーを取りつける

シンプルリモコン

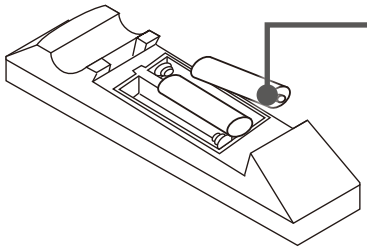
1



電池カバーを取り外す



2

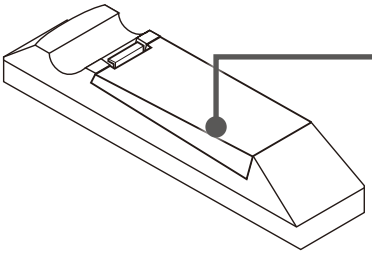


＋、－を確認し、単三形電池を入れる

注意　電池の取り扱い

・添付の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
・単三形乾電池以外を使わないでください。
・交換の際は、二本とも新しい電池にしてください。

3



電池カバーを取りつける

テレビのリモコンを設定する

本製品のリモコンでテレビの操作をできるようにします。

TV電源 を押しながら 3 桁の番号を入力する

※ 0 の入力は 11/わ で行います。
※ お使いのテレビメーカー欄が複数ある場合は、最初の番号から順に入力します。

設定操作例（日立）

下表の日立欄（日立 2）の数字（009）を入力します。0 は 11/わ で入力します。

メーカー	番号	メーカー	番号	メーカー	番号
I-O DATA 1	031	三洋 3	020	FUNAI 6	041
I-O DA TA 2	070	三洋 4	021	SAMSUNG 1	042
SONY 1	001	三菱 1	022	SAMSUNG 2	043
SONY 2	002	三菱 2	023	SAMSUNG 3	044
Panasonic 1	003	三菱 3	024	SAMSUNG 4	045
Panasonic 2	004	三菱 4	025	SAMSUNG 5	046
SHARP 1	005	富士通 1	026	LG 電子 1	047
SHARP 2	006	富士通 2	027	LG 電子 2	048
SHARP 3	007	富士通 3	028	LG 電子 3	049
日立 1	008	富士通 4	029	LG 電子 4	050
日立 2	009	FUNAI 5	040	LG 電子 5	051
日立 3	010	富士通 5	030	LG 電子 6	052
日立 4	011	パイオニア 1	032	LG 電子 7	053
東芝 1	012	パイオニア 2	033	Philips 1	054
東芝 2	013	NEC 1	034	Philips 2	055
東芝 3	014	NEC 2	035	Philips 3	056
ビクター 1	015	FUNAI 1	036	AIWA 1	057
ビクター 2	016	FUNAI 2	037	AIWA 2	058
ビクター 3	017	FUNAI 3	038	AIWA 3	059
三洋 1	018	FUNAI 4	039	バイ・デザイン	060
三洋 2	019	FUNAI 5	040		

※ 上表にないテレビは、本製品のリモコンで操作できません。
※ 一部、動作しないテレビもあります。動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンを使用してください。

「070」のリモコンコードについて

※当社 HDMI リンク機能対応液晶ディスプレイ（LCD-MF222XBR（ 別売品 ）など）のリモコンコードになります。対象ディスプレイと HDMI で接続すれば、本製品のリモコンでディスプレイの電源 ON/OFF や音量変更などの操作ができます。
※本製品の映像・音声設定より、HDMI リンク機能を「有効」に設定してください。
※「070」に設定した場合は、リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。

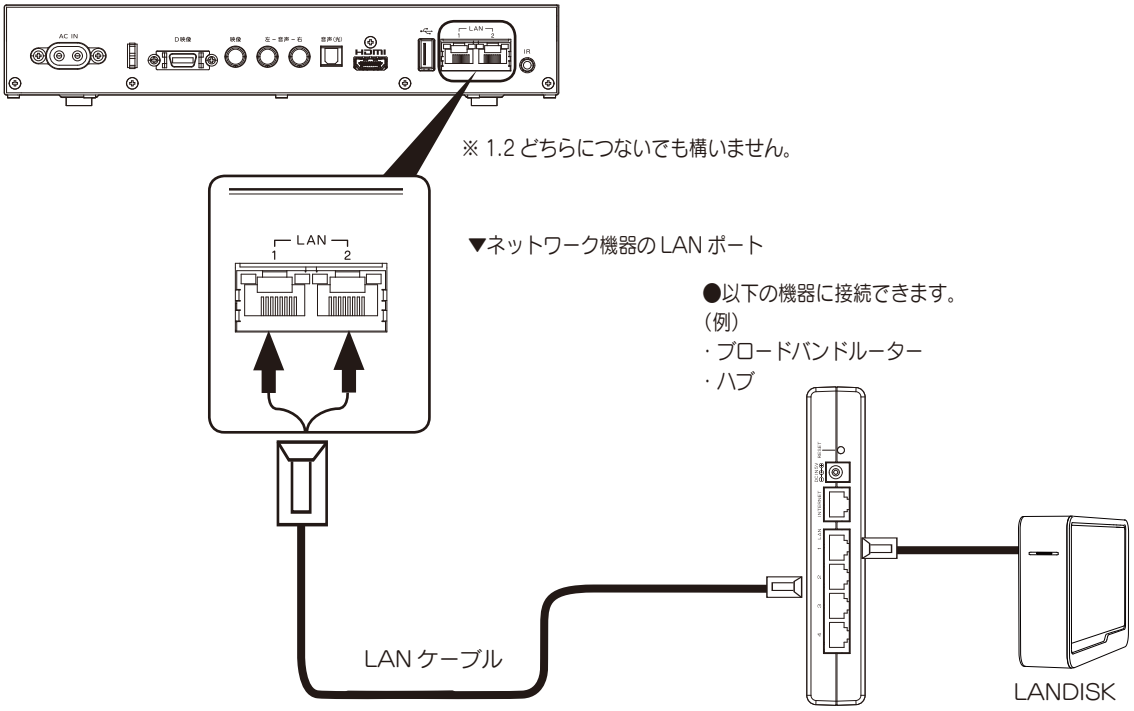
本製品の電源を入れる

本製品の電源ボタンを押すか、リモコンの電源ボタンを押します。

本体前面

ネットワークにつなぐ

ネットワークにつなぐと、本製品と同じネットワーク内のパソコン、弊社製 LAN DISK などの NAS、DLNA 対応機器に保存した動画などを再生することができます。



ネットワーク機器について
・ルーターの DHCP 機能（IP アドレスを自動的に割りあてる）は、「有効」で使用することをおすすめします。
・ルーターのセキュリティー設定によっては本製品からのインターネット接続を遮断する場合があります。ルーターの取扱説明書をご確認ください。

LAN ポートについて
余った片方の LAN ポートは、ネットワーク機能付きのテレビなどにつなぐことができます。

サーバーを設定する

本製品で再生できるサーバー

・Windows Media Player 11
・Windows Media Player 12
・ネットワーク上の DLNA 準拠サーバー
※ 本製品は DTCP-IP クライアント機能に対応しています。
※ DTCP-IP サーバー機能を搭載したＮＡＳ、HDD レコーダーに保存された録画番組などが再生できます。
※ WM-DRM10 等の著作権保護されたデータは再生できません。
※ お使いの DLNA 準拠サーバーにより配信可能なファイルが異なります。
　DLNA 準拠サーバーの仕様をご確認ください。

Windows Media Player の設定について

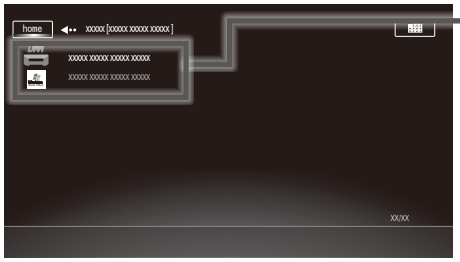
パソコンのデータを再生する場合は、Windows Media Player の設定が必要です。
OS によって使用できる Windows Media Player が異なります。
詳しくは、以下をご覧ください。
Windows Vista/XP　・・・46 ページ
Windows 7　　・・・50 ページ

ネットワークから再生する

1

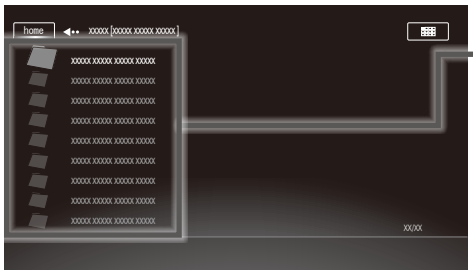
［ＬＡＮ］を選び、決定を押す

2



サーバーを選び、決定を押す

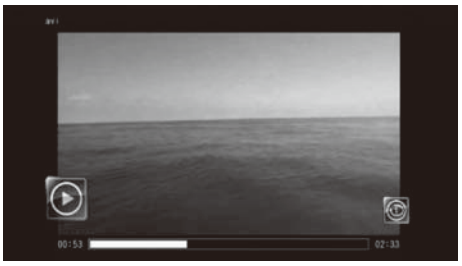
3



フォルダを選び決定を押す

4

データを選び決定を押す



選んだデータが再生されます。

再生中の操作について
再生中に表示される情報や再生モードの変更などの操作については、【画面の説明・・・30 ページ】をご覧ください。

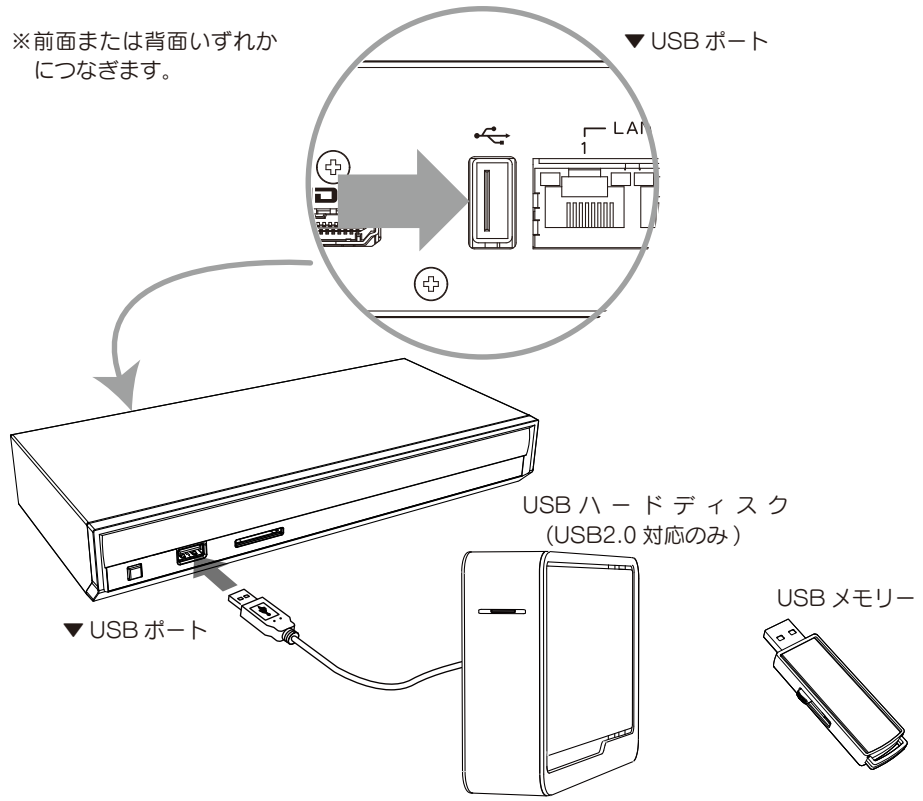
スライドショーについて
画像を選んで【再生】を押すとスライドショーが始まります。
また、音楽を鳴らしながらスライドショーをすることもできます。
詳しくは、【音楽を鳴らしながらスライドショーを見る・・・35 ページ】をご覧ください。

メモ

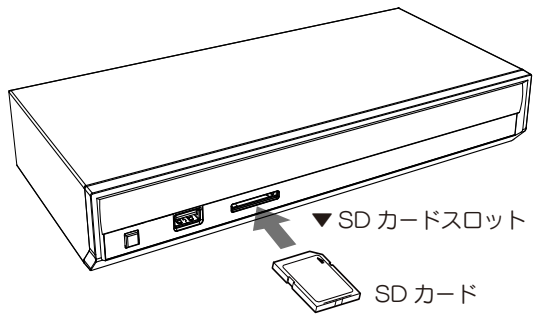
USB/SD カードをつなぐ

再生するデータが入っている USB ハードディスク、USB メモリー、SD カードなどをつなぎます。

USB 機器をつなぐとき



SD カードを入れるとき



SD カードを取り外す場合
コンテンツを再生中の場合は、停止ボタンを押し、再生が停止したことを確認してから、取り外してください。

USB ハードディスクを取り外す場合
USB ハードディスクの動作中は、USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。保存したデータが消えたり、USB ハードディスクが故障したりする原因になります。
以下の場合には、特に注意してください。

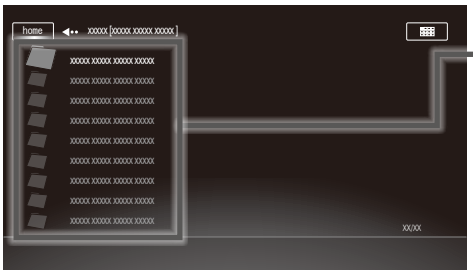
- ●コンテンツの再生中の場合は、停止ボタンを押し、再生が停止したことを確認してから、取り外してください。
- ●カメラからデータを保存中の場合は、保存が終わるまで待つか、キャンセルを選び、保存が停止したことを確認してから、取り外してください。
- ● USB ハードディスクのアクセスランプ（LED）が動作状態を示す点灯（点滅等）になっていないことを確認してから取り外してください。

USB/SD カードのデータを再生をする

1

[USB/SD] を選び、決定 を押す

2



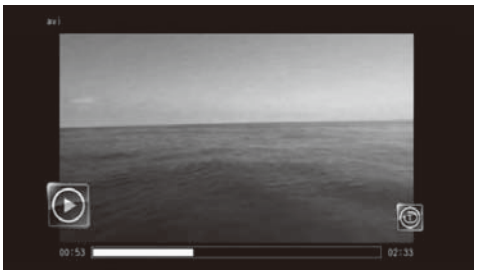
フォルダを選び、決定 を押す

複数の外部ストレージを接続しているときは、再生したいデータが入っている機器を選んでください。

3

データを選び 決定 を押す

選んだデータが再生されます。



順番に再生したいときは

決定 の代わりに 再生/一時停止 を押すと、選んだデータから順に再生します。
画像データの一覧で 再生/一時停止 を押すと、スライドショー再生になります。

再生中の操作について

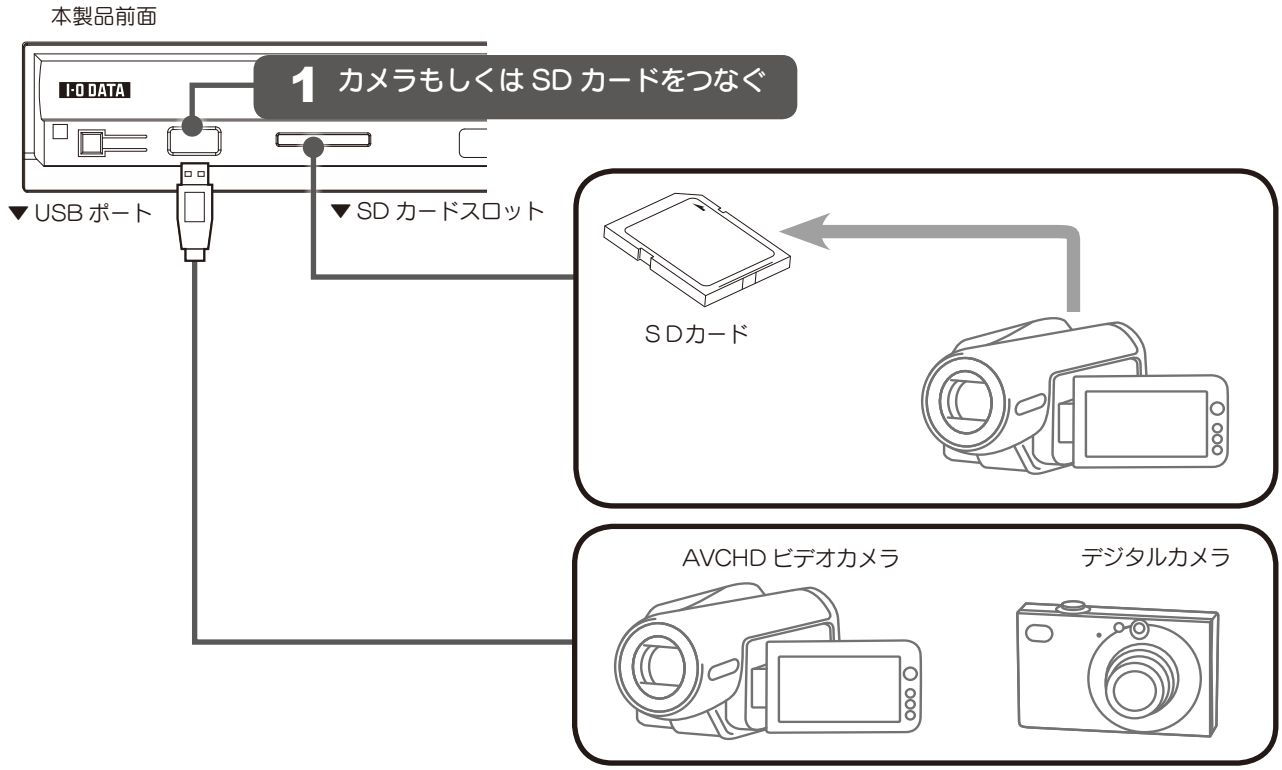
再生中に表示される情報や再生モードの変更などの操作については、
【画面のようす・・・30 ページ】をご覧ください。

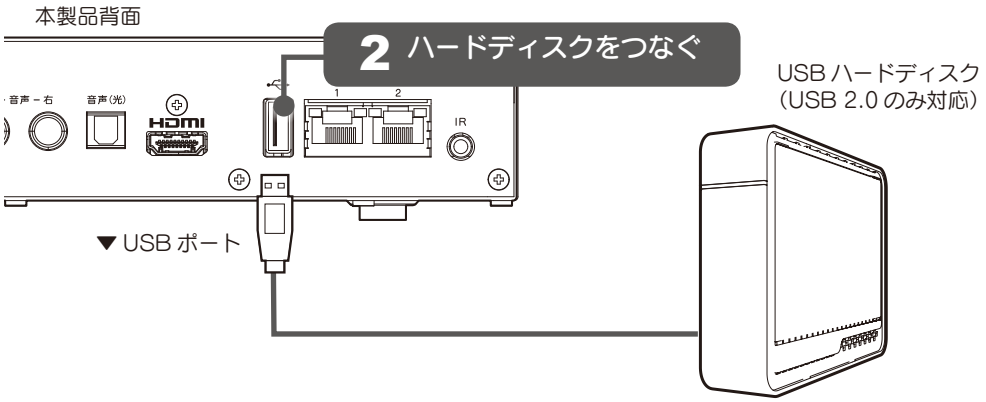
スライドショーについて

画像を選んで 再生/一時停止 を押すとスライドショーが始まります。

また、音楽を鳴らしながらスライドショーをすることもできます。
詳しくは、【音楽を鳴らしながらスライドショーを見る・・・35 ページ】をご覧ください。

ビデオカメラ・ハードディスクをつなぐ





● AVCHD ビデオカメラが 2 種類の記録メディア（内蔵ハードディスク、内蔵メモリー、SD/SDHC カード）に録画できる AVCHD ビデオカメラを利用する場合は、正常に動作しない場合があります。AVCHD ビデオカメラから SD カードを抜き、1 種類の記録メディアとして利用することをお勧めします。

● AVCHD ビデオカメラは PC ストレージモードにして接続してください。
AVCHD ビデオカメラによっては、モードが異なる場合があります。
詳しくは、AVCHD ビデオカメラの取扱説明書をご確認ください。

注意　USB ハブについて

USB ハブには対応していません。
本製品の前面 / 背面の各 USB 端子にそれぞれ 1 台ずつつないでください。

カメラ / ＳＤカードから再生する

1

［カメラプレーヤー］を選び、決定 を押す

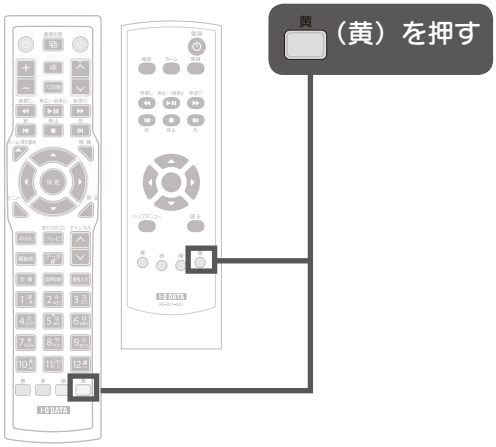
2 カメラやＳＤカードなどが複数ある場合に以下の画面が表示されます。

再生するカメラもしくはＳＤカードを選び、決定 を押す

※ DCIM とはデジタルカメラ内のデータフォルダの名称です。

リモコンのを メニュー 押すと、カメラの選択画面を表示することができます。戻る を押すと元の画面に戻ります。

3



撮影した映像の最初から再生が始まります。
前 / 先 を押すと前 / 先のチャプターに進みます。

カメラの映像を保存する

1

［カメラプレーヤー］を選び、決定 を押す

2 保存先対象が複数ある場合に保存先デバイスの選択画面が表示されます。

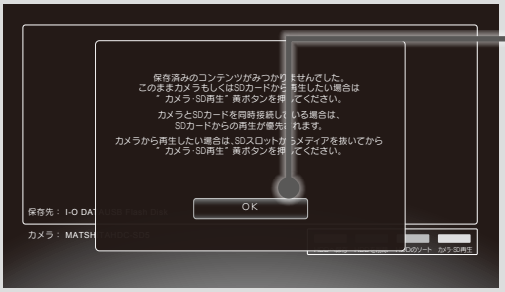
保存先のハードディスクを選び、決定 を押す

3 カメラやＳＤカードなどが複数ある場合に以下の画面が表示されます。

保存するカメラもしくはＳＤカードを選び、決定 を押す

※ DCIM とはデジタルカメラ内のデータフォルダの名称です。

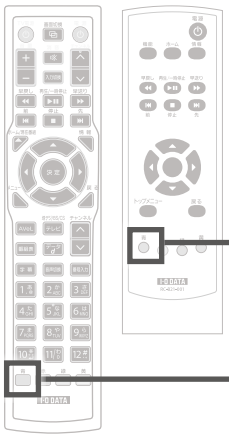
USB ハードディスクに初めてカメラのデータを保存する場合は、下の画面が表示されます。



決定 を押す

リモコンのホーム/現在番組 を押すと、保存先デバイスの選択画面を表示することができます。戻る を押すと元の画面に戻ります。

4



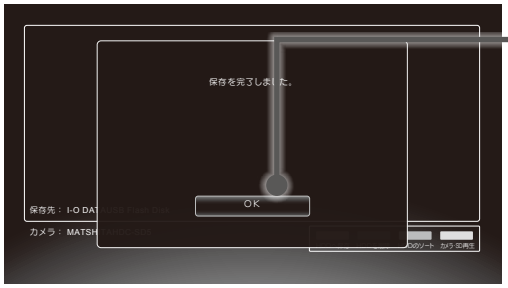
青（青）を押す

接続したUSBハードディスクに初めてカメラのデータを保存する場合、USB ハードディスクに［iodatadir］フォルダが作成されます。
カメラから保存したデータはすべて［iodatadir］フォルダに保存されます。

5

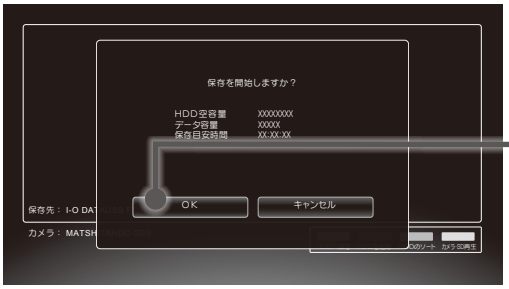
［OK］を選び、決定を押す

6



決定 押す

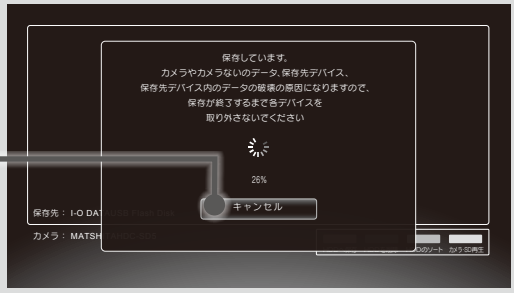
確認画面が表示されます。



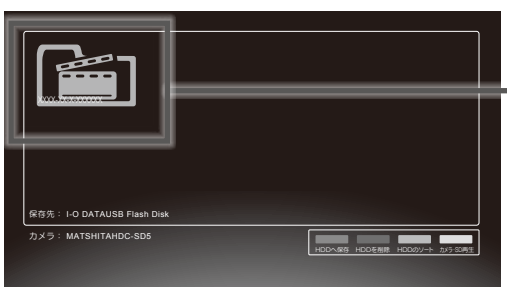
決定 押す

保存を中断するには、
キャンセルを押します。

決定 押す



7



カメラプレーヤーのトップメニューに保存したファイルが表示されます。

保存した映像を再生 / 削除する

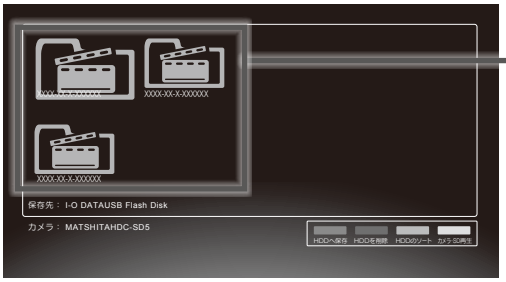
1

［カメラプレーヤー］を選び、決定 を押す

2

保存先の USB ハードディスクを選び、決定 を押す

3



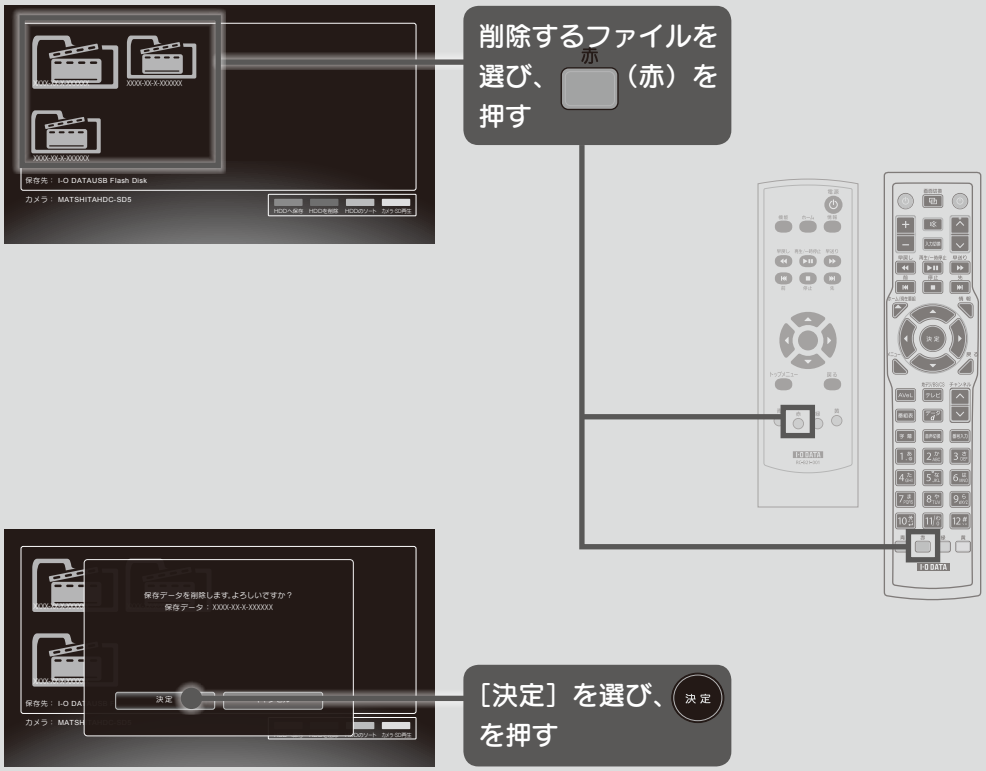
再生するファイルを選び、決定 を押す

選んだデータが再生されます。

再生中に表示される情報や再生モードの変更などの操作については、【画面の説明･･･30 ページ】をご覧ください。

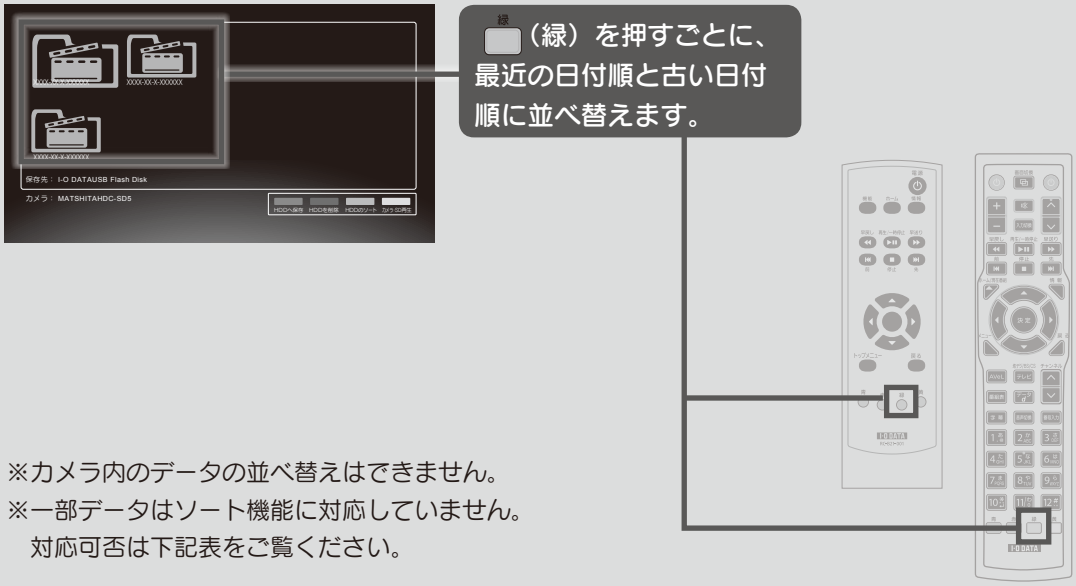
USB ハードディスクに保存したファイルを削除する場合

削除するファイルを選択して、赤（赤）を押します。



USB ハードディスクに保存したファイルを並べ替える場合

緑（緑）を押すごとに日付順で並べ替えます。



※カメラ内のデータの並べ替えはできません。
※一部データはソート機能に対応していません。
　対応可否は下記表をご覧ください。

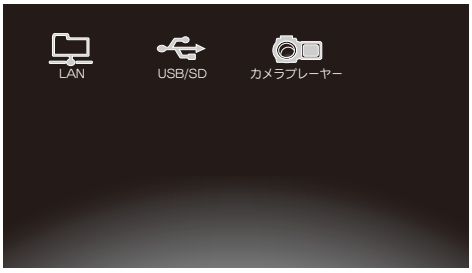
	AVCHD の動画・静止画	DCIM の動画・静止画
フォルダ	○	○
フォルダ内のデータ	×	○

※ DCIM とはデジタルカメラ内のデータフォルダの名称です。

メニュー

トップメニュー

本製品の映像・音声など再生などをおこないます。



トップメニュー

アイコン	できること
ＬＡＮ	ネットワーク内に保存した動画 / 音楽 / 画像を再生します。
USB/SD	USB ハードディスクや SD カードに保存した動画 / 音楽 / 画像を再生します。
カメラプレーヤー	カメラの映像や写真を再生 / 保存します。

設定メニュー

本製品のネットワークや映像・音声などの詳細な設定は「設定メニュー」から行うことができます。

設定メニューを表示する

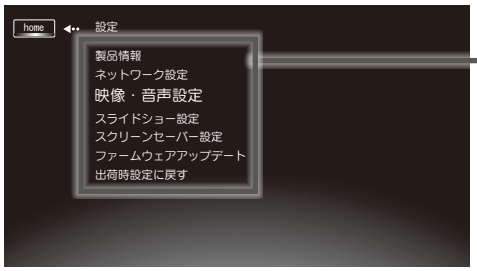
1 トップメニューを表示します。

2

番号入力 を押す

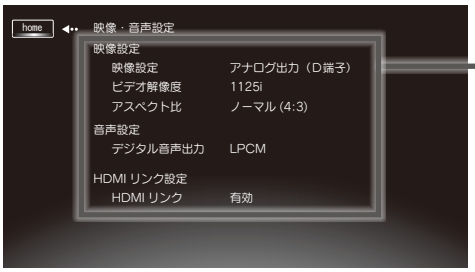
※設定メニューはシンプルリモコンでは表示できません。

3



設定するメニューを選び、決定 を押す

4



①設定する項目を選び、決定 を押す

② で内容を選ぶ

設定後、戻る を押して、同様に別項目を設定します。

全ての設定を終了したら、AVeL を押してトップメニューに切り換えます。

設定の各項目は以下のページで案内しています。

・製品情報表示 ・・・・・・・・・・・26 ページ
・ネットワーク設定 ・・・・・・・・・・・26 ページ
・映像・音声設定 ・・・・・・・・・・・27 ページ
・スライドショー設定 ・・・・・・・・・・・27 ページ
・スクリーンセーバー設定 ・・・・・・・・・・・28 ページ
・出荷時設定に戻す ・・・・・・・・・・・28 ページ
・ファームウェアアップデート ・・・・・・・・・・・29 ページ

設定メニュー

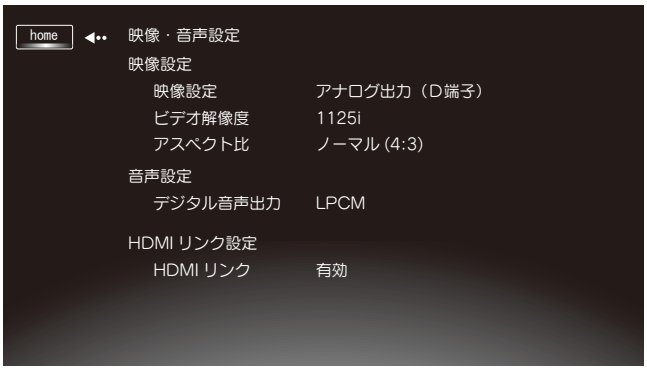
製品情報を表示する

項目	説明
デバイス名	ネットワーク上の本製品の名前を表示します。
プロダクト名	本製品の型番を表示します。
バージョン	本製品のファームウェアのバージョンを表示します。
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。

ネットワークを設定する

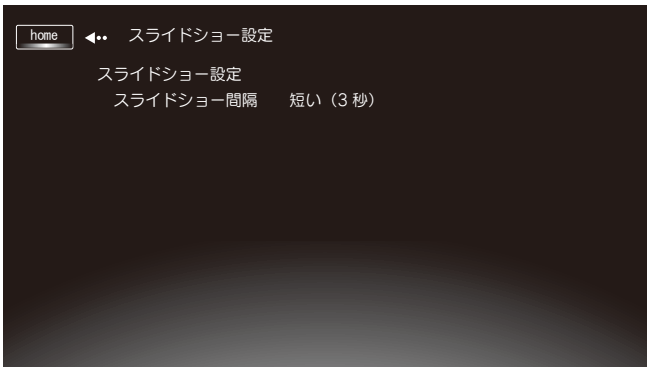
項目	説明	
自動（DHCP）/ 手動設定	IP アドレスを自動取得（DHCP）するか、もしくは手動で設定します。	
	自動設定	自動（初期設定値） DHCP より自動で IP アドレスを取得しているため設定変更する必要はありません。
	手動設定	IP アドレス等を手動で設定できます。
IP アドレス	本製品の IP アドレスが表示されます。	
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクが表示されます。	
デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルトゲートウェイが表示されます。	
DNS	本製品の DNS アドレスが表示されます。	

映像・音声を設定する



項目	説明
映像設定	接続されている映像の出力形態にあわせて自動的に表示します。 但し、HDMI ケーブルと映像端子もしくは D 端子を同時接続している場合は、HDMI 出力を優先して表示します。 アナログ出力（D 端子）：映像端子および D 端子出力状態を表します。 デジタル出力（HDMI）：HDMI 出力状態を表します。
ビデオ解像度	出力する映像の最大解像度を設定します。 デジタル出力（HDMI）：自動（初期設定値）、525p(480p)、750p(720p)、1125i(1080i)、1125p(1080p) から指定します。 アナログ出力（D 端子）：525i(480i)（初期設定値）、525p(480p)、750p(720p)、1125i(1080i) から指定します。
アスペクト比	お使いのテレビに合わせて、アスペクト比を設定します。 但し、デジタル出力（HDMI）の場合は設定不要です。
デジタル音声出力	光デジタル出力・HDMI から出力する音声の形式です。 LPCM：2ch のリニア PCM 音声データ (非圧縮) として出力します。※本製品では LPCM 設定のみとなります。
HDMI リンク設定	HDMI リンクの機能を有効 / 無効を設定します。 ※テレビにより、操作できる機能が異なります。すべての HDMI 対応テレビとの連動を保証するものではありません。 ※本機能を有効にするには、お使いのテレビでも HDMI リンク機能を有効にする操作が必要になる場合があります。

スライドショーの切り換え時間を設定する

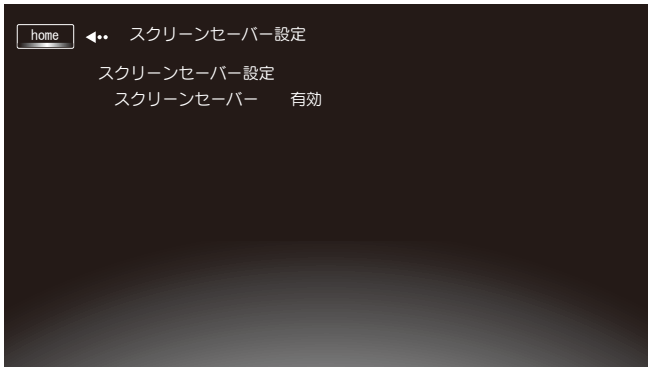


項目	説明
スライドショー間隔	画像をスライドショー再生する際のスピードを設定します。 ※スライドショー再生は「カメラプレーヤー」ではおこなえません。 短い（3秒）：画像を3秒ごとに切り換えます。 普通（5秒）：画像を5秒ごとに切り換えます。 長い（10 秒）：画像を 10 秒ごとに切り換えます。

参考

スライドショー間隔が指定どおりに切り換わらない場合
切り換わるスピードは画像の画素数に影響を受けます。
切り換わりが遅く感じる場合は、画素数を小さくしたり、画質を下げるなど画像を編集してください。

スクリーンセーバーを設定する



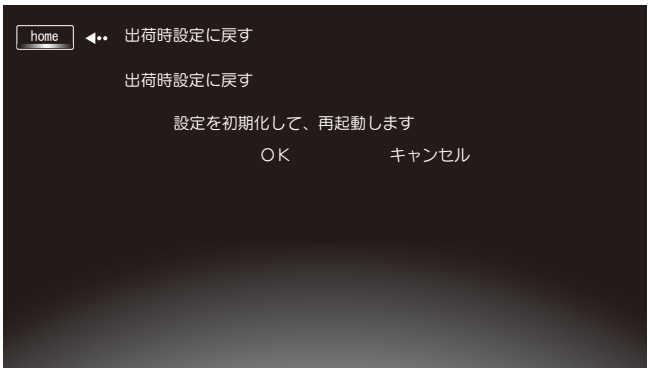
項目	説明
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを利用するかしないかを設定します。 設定を有効にすると、本製品を操作しない状態で 5 分経過するとスクリーンセーバーが起動します。

参考

スクリーンセーバーとは

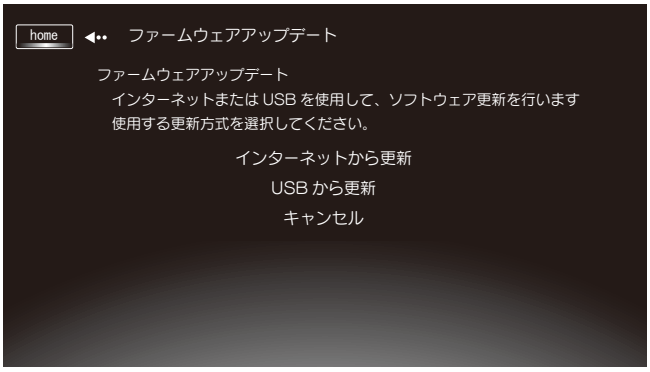
同じ画面を長時間表示し続けると、テレビの画面に焼き付きが発生するおそれがあります。スクリーンセーバーを設定することで、テレビの画面の焼き付きを防止することができます。

出荷時設定に戻す



項目	説明	
出荷時設定に戻す	設定した値を全て出荷時設定に戻します。	
	OK	実行します。
	キャンセル	出荷時設定に戻すのをやめます。

ファームウェアアップデート

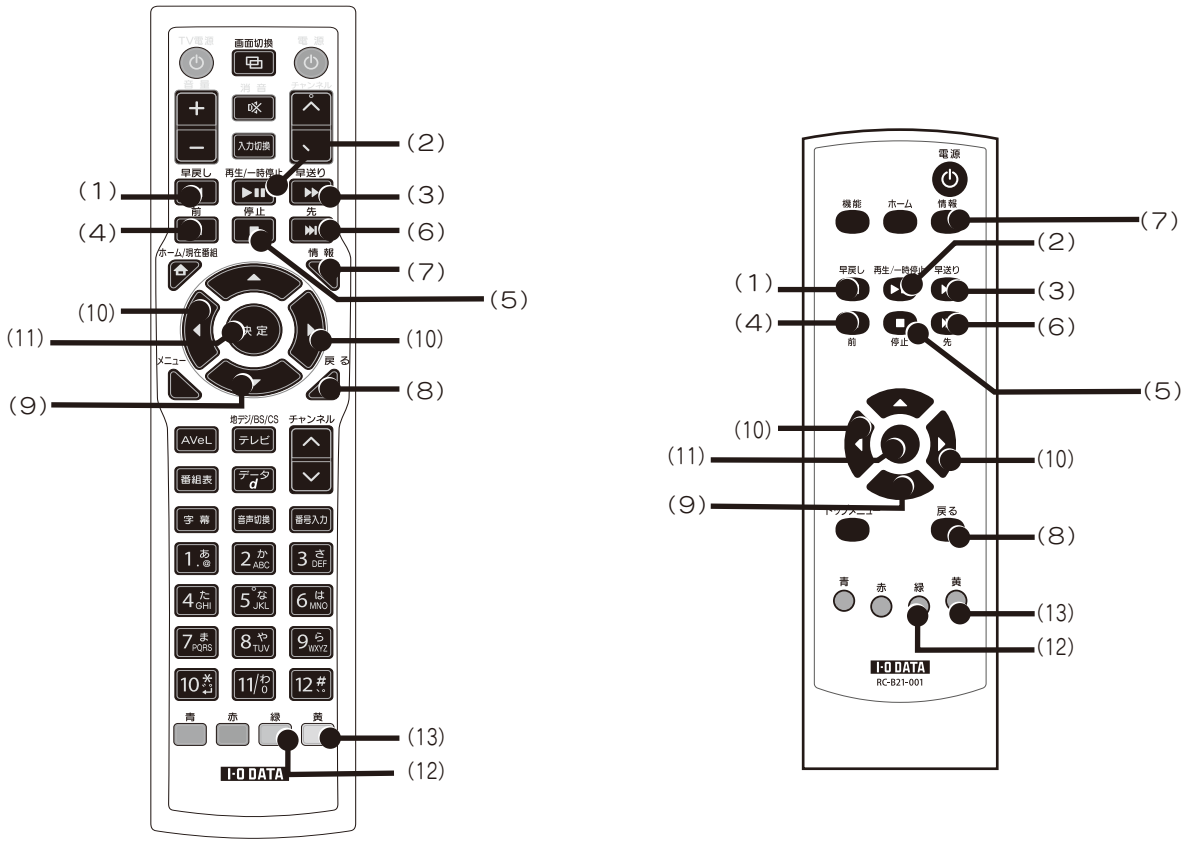


項目	説明
ファームウェアアップデート	本製品のファームウェアはアップデート（更新）することにより、新しい機能を追加することができます。常に最新版にアップデートしてお使いください。インターネットまたはUSBメモリー等を使用して、ファームウェアのアップデートをします。使用する更新方法を選択します。 インターネットから更新：インターネットにつないで、アップデートします。 USBから更新：USBメモリーにダウンロードしたデータを入れてアップデートします。 キャンセル：ファームウェアのアップデートを行いません。

本製品のファームウェアのアップデートの方法については【ファームウェアをアップデートする・・・40 ページ】をご覧ください。

動画再生時の操作と表示

動画再生中の操作

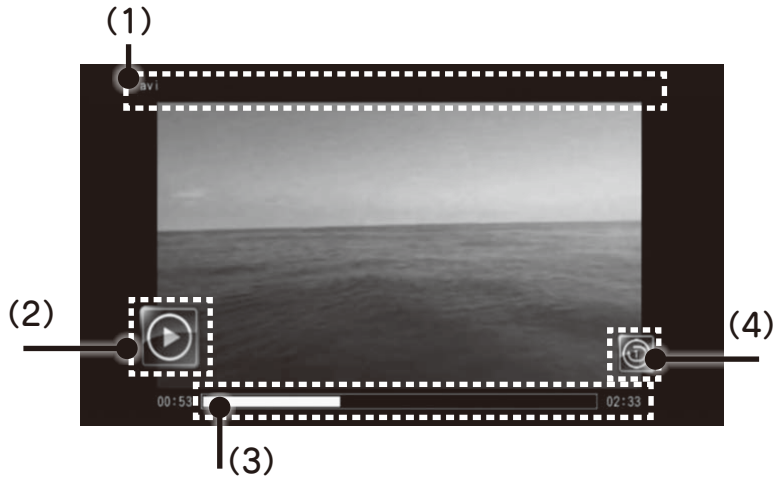


番号	名前	機能
(1)	早戻し	早戻し再生します。 押すごとに、x2、x4、x8、x20、x50、x100 と再生速度が上がります。
(2)	再生 / 一時停止	再生中は一時停止します。 もう一度押すと、一時停止を解除します。 早送り・早戻し中は通常の再生速度に戻します。
(3)	早送り	早送り再生します。 押すごとに、x2、x4、x8、x20、x50、x100 と再生速度が上がります。
(4)	前	1つ前の動画を再生します。
(5)	停止	再生を停止します。
(6)	先	1つ先の動画を再生します。
(7)	情報	再生中の動画の詳細情報（タイトル、再生時間カウンタ等）を OSD で表示します。
(8)	戻る	1つ前の画面に戻ります。
(9)	下	ツールメニューを表示します。 動画再生時は動画のタイトルを表示します。
(10)	左右	動画の再生位置を 30 秒スキップします。 左を押すと、30 秒前にスキップします。 右を押すと、30 秒後にスキップします。
(11)	決定	再生中は一時停止します。 もう一度押すと、一時停止を解除します。 停止中は、動画を再生します。 早送り・早戻し中は、通常の再生速度に戻します。
(12)	緑	シャッフルモードの ON/OFF を切り換えます。
(13)	黄	リピートモードを切り換えます。

※ 表にないボタンは再生中には使いません。

動画再生時の情報を表示する

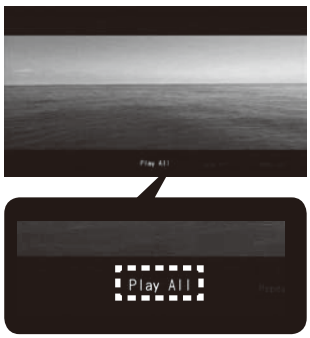
リモコンの [情報] ボタンを押すと再生している動画のファイル名や再生モードなどの情報を 2 秒間表示します。動画の再生を開始したときも自動的に表示します。



番号	機能	意味
(1)	ファイル名	再生している動画のファイル名を表示します。
(2)	再生状態	再生や一時停止、早送りなど現在の再生状態を表示します。
(3)	再生位置	現在再生している位置をバーや再生時間で表示します。
(4)	再生モード	シャッフル再生やリピート再生など、現在の再生モードを表示します。

再生モードを変更する

動画の再生中にシャッフル再生やリピート再生などの再生モードを変更することができます。



アイコン	機能	意味
	Shuffle	再生フォルダ内の全ての動画の順番をシャッフルして再生します。
	Play One	1つの動画を 1 回再生します。
	Repeart One	1つの動画を繰り返し再生します。
	Play All	フォルダ内の全ての動画を 1 回再生します。
	Repeat All	フォルダ内の全ての動画を繰り返し再生します。

1 リモコンの [下] ボタンを押します。
画面下部にツールメニューが表示されます。
今の再生モード以外のモードが表示されます。

2 リモコンの［左 / 右］ボタンで再生モードを選び、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3 ツールメニューの表示が消え、再生モードアイコンが画面右下に表示されます。

参考

シャッフル再生の ON/OFF

リモコンの緑 (緑) ボタンでツールメニューを開かなくても ON/OFF することができます。

アイコンが表示されればシャッフル再生 ON です。

参考

リピート再生の切り換え

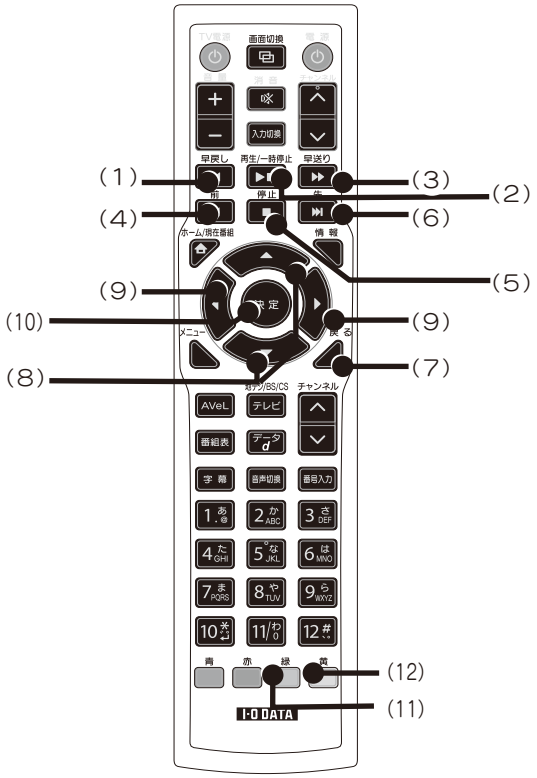
リモコンの黄 (黄) ボタンでツールメニューを開かなくてもリピートモードを切り換えることができます。

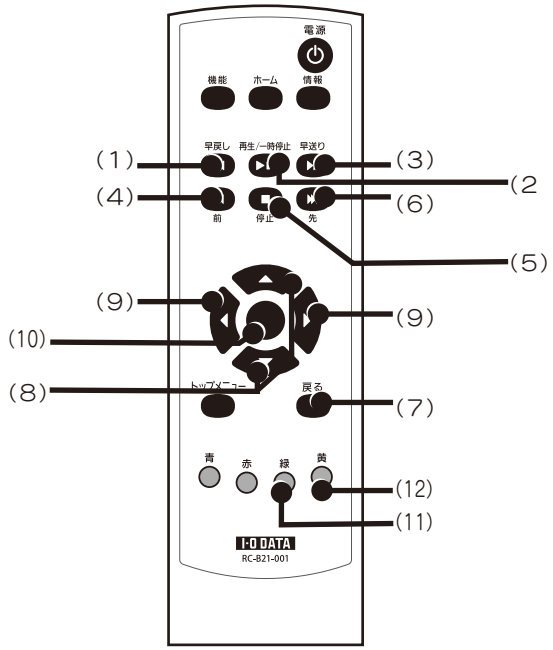
以下の順で切り換わります。

Play One → Repeat All → Repeat One → Play All

音楽再生時の操作と表示

音楽再生中の操作



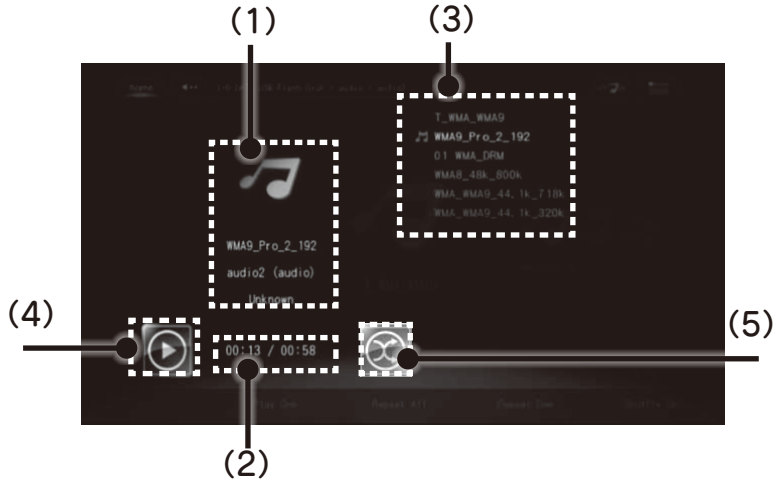


番号	名前	機能
(1)	早戻し	早戻し再生します。 押すごとに、x2、x4、x8、x20、x50、x100 と再生速度が上がります。
(2)	再生 / 一時停止	再生中は一時停止します。 もう一度押すと、一時停止を解除します。 早送り・早戻し中は、通常の再生速度に戻します。
(3)	早送り	早送り再生します。 押すごとに、x2、x4、x8、x20、x50、x100 と再生速度が上がります。
(4)	前	1つ前の音楽を再生します。
(5)	停止	再生を停止します。
(6)	先	1つ先の音楽を再生します。
(7)	戻る	1つ前の画面に戻ります。
(8)	上下	表示されている音楽リストのカーソルを上下に移動します。
(9)	左右	ツールメニューを表示します。
(10)	決定	※音楽リスト上の♫マークにカーソルが当たっている場合のみ、以下の操作が可能です。 状態 / 動作 再生中 / 一時停止します。 一時停止 / 一時停止解除します。 停止中 / 再生します。 早送り・早戻し中 / 通常の再生速度に戻します。
(11)	緑	シャッフルモードの ON/OFF を切り換えます。
(12)	黄	リピートモードを切り換えます。

※ 表にないボタンは再生中には使いません。

音楽再生時の情報を表示する

音楽を再生するとファイル名や再生モードなどの情報を表示します。



番号	機能	意味
(1)	フォルダ名	ファイル名とフォルダ名を表示します。
(2)	再生時間	再生時間を表示します。
(3)	ファイル一覧	同じフォルダ内にある音楽のファイル名を一覧で表示します。 今再生している音楽のファイル名には がつきます。 ファイル名をリモコンの [上下] ボタンで選び、[決定] ボタンを押すと選んだ音楽を再生することができます。
(4)	再生状態	再生や一時停止、早送りなどの再生状態を表示します。
(5)	再生モード	シャッフル再生やリピート再生など、現在の再生モードを表示します。

再生モードを変更する

動画の再生中にシャッフル再生やリピート再生などの再生モードを変更することができます。

アイコン	機能	意味
	Shuffle	再生フォルダ内の全ての音楽の順番をシャッフルして再生します。
	Play One	1つの音楽を 1 回再生します。
	Repeart One	1つの音楽を繰り返し再生します。
	Play All	フォルダ内の全ての音楽を 1 回再生します。
	Repeat All	フォルダ内の全ての音楽を繰り返し再生します。

1 リモコンの [下] ボタンを押します。

画面下部にツールメニューが表示されます。
今の再生モード以外のモードが表示されます。

2 リモコンの［左 / 右］ボタンで再生モードを選び、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3 ツールメニューの表示が消え、再生モードアイコンが画面右下に表示されます。

参考

シャッフル再生の ON/OFF

リモコンの緑 (緑) ボタンでツールメニューを開かなくても ON/OFF することができます。

アイコンが表示されればシャッフル再生 ON です。

参考

リピート再生の切り換え

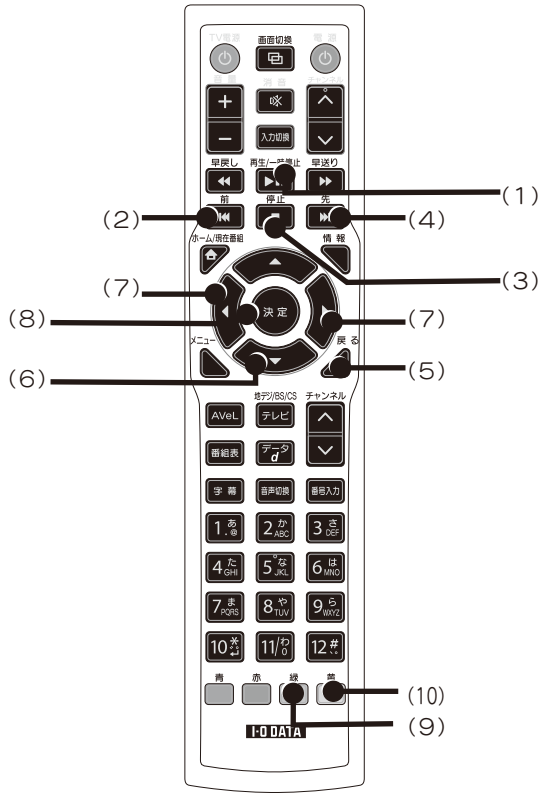
リモコンの黄 (黄) ボタンでツールメニューを開かなくてもリピートモードを切り換えることができます。

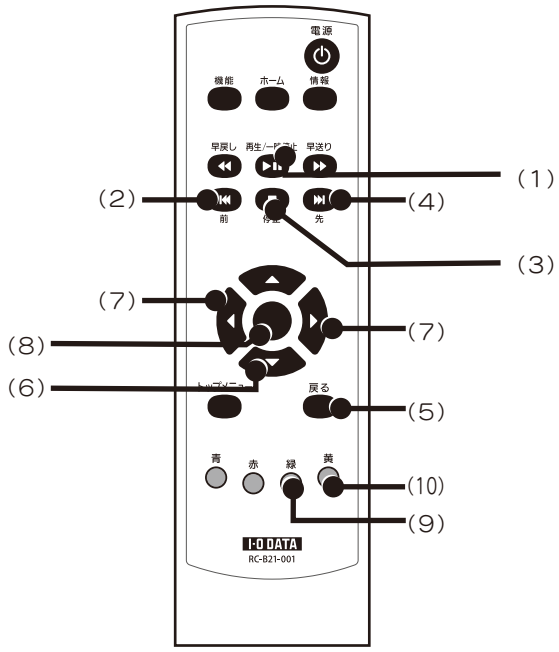
以下の順で切り換わります。

Play One → Repeat All → Repeat One → Play All

画像再生時の操作と表示

画像再生中の操作





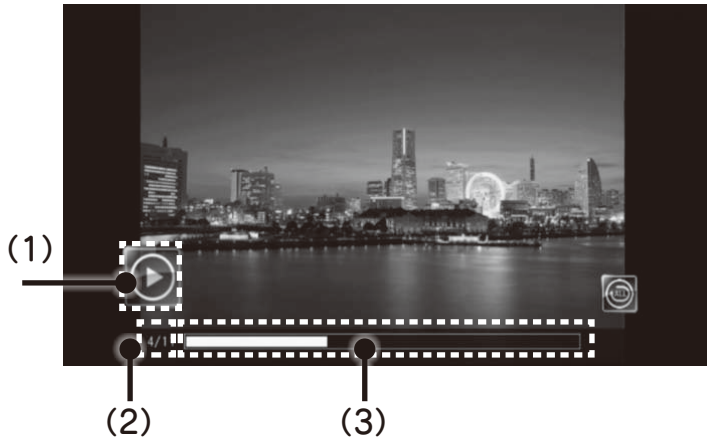
番号	名前	機能
(1)	再生 / 一時停止	画像をスライドショーで再生します。 スライドショー再生中は一時停止します。
(2)	前	1つ前の画像を再生します。
(3)	停止	スライドショーを停止し、画像一覧に戻ります。 もう一度押すと、バックグラウンドで再生している音楽を停止します。
(4)	先	1つ先の画像を再生します。
(5)	戻る	1つ前の画面に戻ります。
(6)	下	ツールメニューを表示します。
(7)	左右	1つ前・次の画像を表示します。
(8)	決定	画像を再生します。 画像再生中に押すとその画像を起点としたスライドショー再生を開始します。 スライドショー再生中は一時停止 / 再生再開します。
(9)	緑	シャッフルモードの ON/OFF を切り換えます。
(10)	黄	リピートモードを切り換えます。

※ 表にないボタンは表示中には使いません。

注意 スライドショー再生はメニューの「USB/SD」「LAN」でのみ再生可能です。
「カメラプレーヤー」では再生できません。

スライドショー再生時の情報を表示する

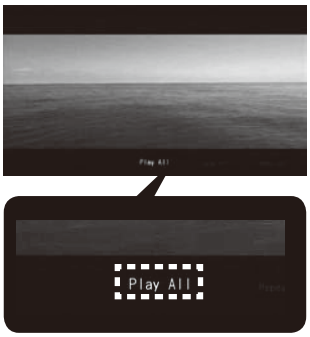
リモコンの[再生]ボタンを押して画像を再生するとその画像が保存されているフォルダ内の画像を全てスライドショーで再生します。
スライドショーで再生中にリモコンの [情報] ボタンを押すと画像の枚数や再生モードなどの情報を表示します。もう一度、[情報] ボタンを押すと表示は消えます。



番号	機能	意味
(1)	再生ステータス	再生や一時停止かの再生状態を表示します。
(2)	枚数	再生時間を表示します。
(3)	再生位置	表示している画像をバーで表示します。

再生モードを変更する

動画の再生中にシャッフル再生やリピート再生などの再生モードを変更することができます。



アイコン	機能	意味
	Shuffle	フォルダ内の全ての画像の順番をシャッフルして再生します。
	Play All	フォルダ内の全ての画像をスライドショー再生します。
	Repeat All	フォルダ内の全ての画像を繰り返しスライドショー再生します。

1 リモコンの [下] ボタンを押します。
画面下部にツールメニューが表示されます。
今の再生モード以外のモードが表示されます。

2 リモコンの［左 / 右］ボタンで再生モードを選び、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3 ツールメニューの表示が消え、再生モードアイコンが画面右下に表示されます。

参考 シャッフル再生の ON/OFF
リモコンの [緑] ボタンでツールメニューを開かなくても ON/OFF する
ことができます。アイコンが表示されればシャッフル再生 ON です。

参考 リピート再生の切り換え
リモコンの [黄] ボタンでツールメニューを開かなくてもリピートモードを切り換えることができます。
再生モードが交互に切り換わります。

Repeat All ⟷ Play All

音楽を鳴らしながらスライドショーを見る

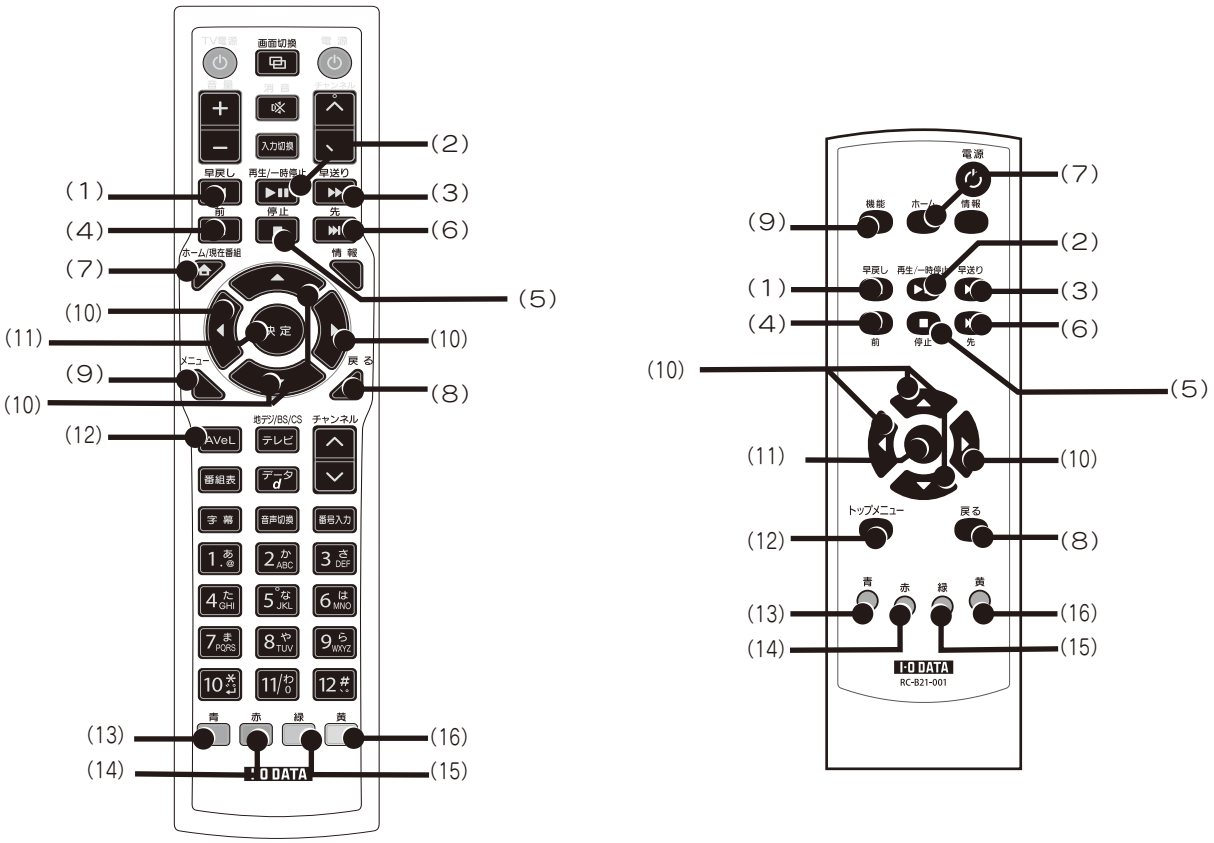
1 音楽を再生したままの状態でリモコンの [戻る] ボタンを何度か押し、
スライドショー再生を行いたい画像が入ったフォルダを表示します。

2 画像を選んでリモコンの [再生] ボタンを押すと、スライドショー再生が始まり音楽を流しながらスライドショーを見ることができます。
リモコンの [停止] ボタンを押すとスライドショーを停止します。
もう一度リモコンの [停止] ボタンを押すと音楽の再生を停止します。

参考 音楽や画像の再生モード（シャッフル再生やリピート再生）の設定を行うとさらにリッチなスライドショーが楽しめます。

カメラプレーヤーの操作

リモコンの操作



番号	名前	機能
(1)	早戻し	再生中のデータを早戻しします。 押すごとに x2、x4、x8、x20、x50、x100 と早戻し速度が上がります。
(2)	再生 / 一時停止	再生中は一時停止します。 もう一度押すと、一時停止を解除します。 早送り・早戻し中は通常の再生速度に戻します。
(3)	早送り	再生中のデータを早送りします。 押すごとに x2、x4、x8、x20、x50、x100 と早送り速度が上がります。
(4)	前	前のチャプターを再生します。
(5)	停止	再生中は一時停止します。 もう一度押すと、一時停止を解除します。 早戻し・早送り中は、通常の再生速度に戻ります。
(6)	先	次のチャプターを再生します。
(7)	ホーム	USB ハードディスクの選択画面を表示します。
(8)	戻る	1つ前の画面に戻ります。選択画面を非表示にします。
(9)	メニュー	カメラ・SD カード選択画面を表示します。
(10)	上下左右	フォーカスを移動します。
(11)	決定	フォーカスのある項目を決定します。 USB ハードディスクに保存したデータを再生します。
(12)	AVeL	ホームメニューを表示します。
(13)	青	ビデオカメラのデータを USB ハードディスクに保存します。
(14)	赤	USB ハードディスクに保存したデータを削除します。
(15)	緑	USB ハードディスクに保存しているデータをソートします。
(16)	黄	カメラや SD カード内のデータを再生します。

※ 表にないボタンは再生中には使いません。

データ再生時の情報を表示する

データを再生する再生状態を表示します。

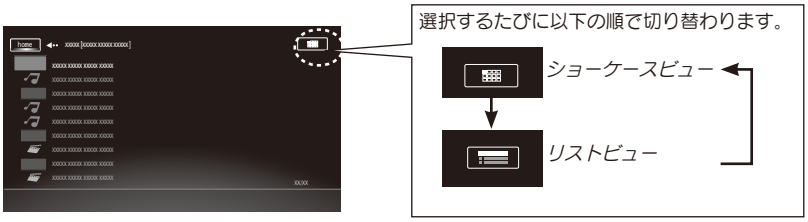
番号	機能	意味
(1)	再生状態	再生や一時停止、早送りなどの現在の再生状態を表示します。

参考

再生モードの切り換え
カメラプレーヤーでは再生モードの変更することはできません。

表示モードを変更する

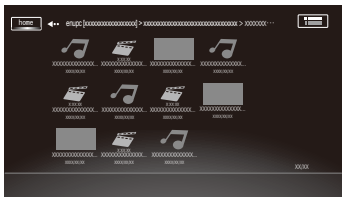
フォルダやファイルの選択画面をお好みの表示モード方法に変更することができます。



1 リモコンの [上] ボタンを押して表示モードアイコンを選びます。

2 リモコンの［決定］ボタンを押します。

以下の様に表示が切り替わります。

リストビュー 	サムネイルやファイルアイコン、ファイル名が縦一列に表示されるため、タイトルを確認しやすく、ファイルをすばやく探せます。リモコンの［上 / 下］ボタンを押してファイルを選びます。
ショーケースビュー 	一画面にサムネイルやファイルアイコンがたくさん表示されているので、大量のファイルの中からファイルをすばやく探せます。リモコンの［上 / 下 / 左 / 右］ボタンを押してファイルを選びます。

メモ

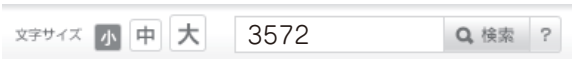
ファームウェアをアップデートする

ファームウェアアップデートの準備

USB メモリーから更新する場合

1 USB メモリーを準備します。
（64MB 以上の空き容量があり、セキュリティが掛かっていない USB メモリーをご用意ください）

2 以下の URL から、アップデート用のファイルをパソコンにダウンロードします。
①弊社 Web ページ（http://www.iodata.jp/）にアクセスします。
② サイト内検索に「3572」と入力し、 検索 をクリックします。



③ 表示された検索結果から、「 AV-LS700B」をクリックします。

3 ダウンロードしたファイルを解凍します。

4 解凍後、作成されたフォルダの中身すべてを、USB メモリーのルートディレクトリにコピーします。
※フォルダ自体をコピーしてもアップデートすることはできません。
（フォルダの中身をコピーしてください）

5 準備完了です。

インターネットから更新する場合

インターネットから更新をする場合は、ファームウェアの更新手順に入る前に、あらかじめ、本製品をインターネットにつないでください。

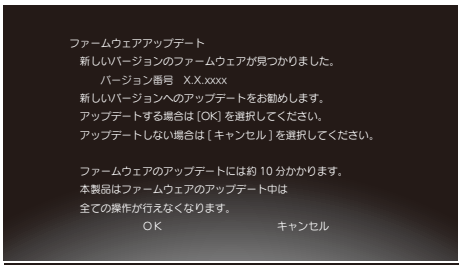
**インターネットの接続方法については、
【ネットワークにつなぐ・・・12 ページ】をご覧ください。**

ファームウェアアップデートの方法

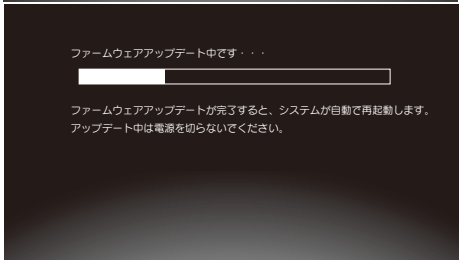
自動更新の場合

本製品はファームウェアのデータを保存した USB メモリーをつないだ状態で、本製品の電源が ON になった場合、自動的に最新ファームウェアを検索してアップデートを行います。

1 最新ファームウェアが見つかった場合は右の画面が表示されます。
⇒ [OK] を選ぶとファームウェアのアップデートが始まります。



2 右の画面が表示されたら、しばらく待ちます。
※アップデートには約 10 分かかります。



注意 **アップデート中は本製品の電源を切らないでください。**

3 本製品が自動的に再起動されます。

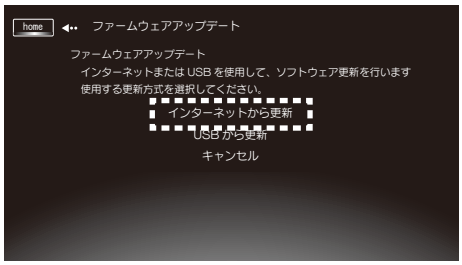
手動更新の場合

1 本製品の電源を入れます。
USB メモリーでアップデートをおこなう場合は準備した USB メモリーを接続します。

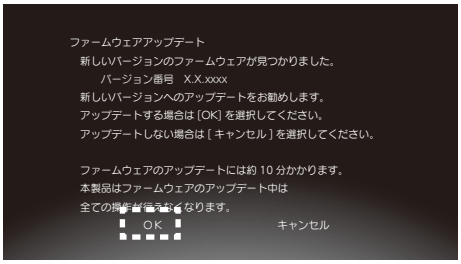
2 多機能リモコンの［番号入力］ボタンを押して設定メニューを表示します。

3 「ファームウェアアップデート」を選びます。

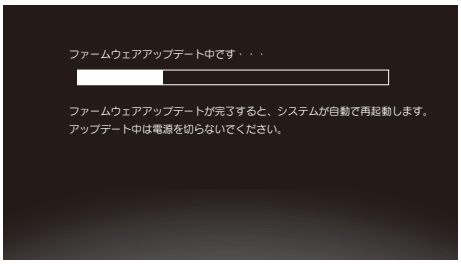
4 ファームウェアアップデート方式を選択します。
「インターネットから更新」を選択します。
USB メモリーを利用する場合は「USB から更新」を選びます



5 最新ファームウェアが見つかった場合は右の画面が表示されます。
⇒ [OK] を押すとファームウェアのアップデートが始まります。



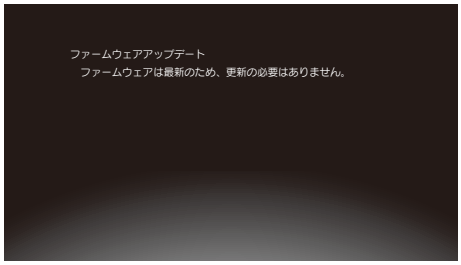
6 下の画面が表示されたら、しばらく待ちます。
※アップデートには約 10 分かかります。



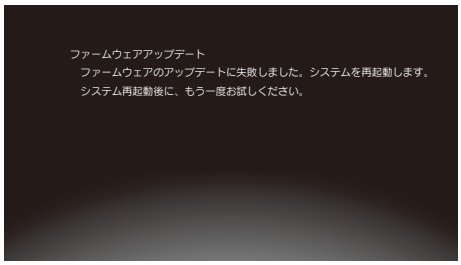
注意 アップデート中は本製品の電源を切らないでください。

7 本製品が自動的に再起動されます。

参考 すでに最新ファームウェアになっている場合は、下の画面が表示されます。



注意 ファームウェアのアップデートに失敗すると下の画面が表示され、本製品が再起動します。
再起動後ネットワークが正しくつながっているかを確認し、再度ファームウェアのアップデートをしてください。



困ったときには

本製品を使っていて問題が起きたときは、まずこちらをご覧ください。
想定される問題と、解決方法が記載されています。

■全般的な問題

画面が映らない

●電源が入っていないため
電源がオンになっているかご確認ください
●テレビが外部入力の映像を表示するようになっていないため
テレビのリモコンの［入力切換］ボタン（または［ビデオ］ボタン）を何度か押し、本製品の画面が表示されないかをご確認ください。
●本製品がテレビと正しくつながっていないため
テレビと正しくつながっているかをご確認ください。
●本製品とテレビを AV ケーブルと HDMI ケーブルの両方でつないでいるため
本製品とテレビを HDMI ケーブルと同時に AV ケーブルや D 端子ケーブルをつないだ場合、HDMI ケーブル側に映像を出力します。
そのため、AV ケーブル側や D 端子ケーブル側には映像が出力されません。

電源が入らない

●電源コンセントから AC ケーブルを抜いて１０秒以上してからコンセントにつなぎ直してください。
●本製品前面のランプが何も点灯していない場合、本製品に電源が供給されていません。
AC ケーブルがきちんとコンセントにつなげられているかをご確認ください。
電源タップにつないでいる場合は、電源タップがコンセントにつながっているか、電源タップのスイッチがオフになっていないかをご確認ください。
●リモコンの電源ボタンを押していないため
本製品前面の電源ランプが点灯 (赤色) している場合、本製品の電源がオフになっています。リモコンもしくは本体の電源ボタンを押し、本製品の電源をオンにしてください。

リモコン操作ができない

●機能のないボタンを押しているため
各ボタンの機能をご確認ください。

●「多機能リモコン」、「シンプルリモコン」両方の電源ボタンが反応しないか確認してください。
▽片方のみ電源が反応しない場合は
・リモコンに電池が入っていない・電池が消耗しているため
新しい電池を入れてみてください。
・電池の極性（＋－）が正しくないため
電池ふたを開け、電池の向きをご確認ください。

▽両方とも反応しない場合は
・リモコンをリモコン受光部に向けていないため
・リモコンの操作範囲から外れているため
リモコン受光部・リモコン操作範囲をご確認ください。
・プラズマテレビ、ハロゲンヒーターなどが製品の近くにあるため
赤外線を発するものが本製品の近くにある場合、リモコン操作できなくなることがあります。本製品から遠ざけてください。
・電源コンセントから AC ケーブルを抜いて１０秒以上してからコンセントにつなぎ直してください。

●一部のボタンが故障しているため
いくつかのボタンを押してみて、動作するかをご確認ください。
故障しているようであれば修理センターへお送りください。

D端子のビデオ解像度を間違えて設定した

● AV ケーブルを接続し、テレビの外部入力をいったん切り換えて、正しい解像度に設定した後、テレビの外部入力を元に戻してください。

画面が縦長や横長に表示される

●お使いのテレビと設定が合っていません。「設定メニュー」内の「映像音声設定」で「ビデオ解像度」や「アスペクト比」を正しく設定してください。

操作ができない

●コンセントからＡＣケーブルを抜いて、１０秒以上してからコンセントにさし直してください。
●リモコンの電池が消耗していないか確認してください。

電源を切っているのに、暖かい

●故障ではありません。リモコンで電源をオフにした場合はスタンバイ状態になっています。そのため、本製品が暖かくなることがあります。

■動画・音楽・画像の再生に関する問題

音声が出ない

●本製品がテレビと正しくつながっていないため
テレビと正しくつながっているかをご確認ください。
●テレビの音声が小さい・消音になっているため
テレビのリモコンで音量を調整してみてください。
●再生している動画に音声がないため
他の音声がある動画を再生し、問題がないかご確認ください。
●スピーカーを搭載していないＰＣ用ディスプレイをＨＤＭＩでつないだ場合、音声が出力されません。その際は、音声（左右）端子にアンプ内蔵スピーカーや AV アンプ等をつなぐことで音声を出力できます。

映像・音声が乱れる

●ＬＡＮやＵＳＢ / ＳＤでコンテンツを見ている場合
・本製品が対応していないコンテンツを再生したため
再生中のコンテンツが対応しているかをご確認ください。
コンテンツの状態が良くない場合も、映像・音声が乱れる場合があります。
対応フォーマットのデータでも、形式・作成方法・ネットワーク環境などにより、正しく再生できない場合があります。
・サーバーとの通信がうまくいっていないため
他の機器とサーバーが通信している場合、本製品とサーバーとの通信に問題が起こる場合があります。サーバーが他の機器と通信していないかをご確認ください。

■ USB/SD に関する問題

メモリカードを差し換えたのに、前のメモリカードのデータが残っている

●本製品の USB 端子からマルチカードリーダーを取り外さずに SD カードを抜き差したため
マルチカードリーダーに挿した SD カードなどを抜き差しする場合は、一度、本製品の USB 端子からカードリーダーを外してください。

USB ストレージが認識されない

●本製品と正しくつながっていないため
正しくつながっていることをご確認ください。
●認識まで時間が掛かっているため
USB ストレージの種類や状態によっては、つないでから認識されるまで 1 分以上掛かることがあります。
● USB ポートから供給される電源が足りないため
USB ポートから最大 500mA までの電力が供給されます。
USB ストレージの消費電流が 500mA 以上のもの（ハードディスクなど）は、バスパワーでなく、電源コンセントにつないで使ってください。

スライドショーの切り換わりが遅い

●画素数が大きすぎる
スライドショーの間隔は画像の画素数（解像度）やファイルサイズに影響を受けます。
スライドショーの間隔を短くする場合は、予め、以下の準備を行ってください。
・デジタルカメラの撮影時の画質を下げる。
・パソコンで画像を編集し、解像度を低くする。

参考

< JPEG 画像切り換え表示の目安 >
※ JPEG 画像を選択した状態で、リモコンボタンの決定による選択から、表示されるまでの時間を計測

画素数	表示までにかかる時間
400 万画素（2304 × 1728） 1.8MByte	3.2 秒
800 万画素（3408 × 2272） 2.11MByte	3.2 秒
1000 万画素（3648 × 2736） 4.14MByte	3.8 秒
1400 万画素（4320 × 3240） 3.17Mbyte	3.7 秒

※ USB での測定です。

■カメラプレーヤーに関する問題

カメラ、保存先が見つからない

●正しくつながっていることをご確認ください。
カメラは PC ストレージモードにして接続してください。
カメラによっては、モードが異なる場合があります。詳しくは、カメラの取扱説明書をご確認ください。

撮影した AVCHD 映像や写真が見つからない

●内蔵ハードディスクと SD カードなどを搭載したカメラをつないでいるため
カメラが 2 種類の記録メディア（内蔵ハードディスク、内蔵メモリー、SD/SDHC カード）に録画できるカメラを利用する場合は、正常に動作しない場合があります。カメラから SD カードを抜いてから利用することをお勧めいたします。

カメラを認識しない

● PC ストレージモードになっていないため
本製品とつなぐ時には、カメラは PC ストレージモードにして接続してください。
カメラによっては、モードが異なる場合があります。詳しくは、カメラの取扱説明書をご確認ください。

■ LAN からの動画・音楽・画像の再生に関する問題

サーバーが見つからない

●サーバーが起動していない・起動した直後のため
サーバーが起動していない場合、サーバーと通信できません。また、サーバーが起動した直後は、まだサーバーとの通信ができない場合があります。

●アクセス制限が設定されているため（DLNA 準拠サーバー）
DLNA 準拠サーバーでアクセス制限が設定されている場合、アクセス制限を解除してください。

●ファイアウォールが制限しているため
ファイアウォールソフトが本製品からのアクセスを遮断していないかご確認ください。

ネットワークに接続できない

●ネットワークと正しくつながっていないため
正しくつながっていることをご確認ください。
特に、LAN ケーブルが正しくつながっているかをご確認ください。
正しくつながっている場合はつながっている LAN ポートに LED が点灯（緑色）します。

●ルーター等のネットワーク機器の設定が正しくないため
ルーター等のネットワーク機器の取扱説明書をご覧になり、正しく設定してください。
設定により、接続が制限されている場合がありますので、ご確認ください。

●ネットワークの設定が正しくないため
本製品はネットワークにつなぐだけで DHCP を利用して自動で設定されます。DHCP を利用していない場合は、お使いのネットワーク環境にあわせて、手動設定を行ってください。

スライドショーの切り換わりが遅い

●画素数が大きすぎる
スライドショーの間隔は画像の画素数（解像度）やファイルサイズに影響を受けます。
スライドショーの間隔を短くする場合は、予め、以下の準備を行ってください。
・デジタルカメラの撮影時の画質を下げる。
・パソコンで画像を編集し、解像度を低くする。

参考

＜ JPEG 画像切り換え表示の目安＞
※ JPEG 画像を選択した状態で、リモコンボタンの決定による選択から、表示されるまでの時間を計測

画素数	表示までにかかる時間
400 万画素（2304 × 1728）　1.8MByte	3.2 秒
800 万画素（3408 × 2272）　2.11MByte	3.2 秒
1000 万画素（3648 × 2736）　4.14MByte	3.8 秒
1400 万画素（4320 × 3240）　3.17Mbyte	3.7 秒

※ USB での測定です。DLNA ではネットワーク状況により数秒加算される場合があります。
（DLNA 環境は＋ 0.7 ～ 1.1 秒程加算。［ 環境：STB - Router - PC］）

サーバー（パソコン）の設定

Windows Media Player11 の設定をする

Windows Media Player 11 をサーバーとして使う方法を説明します。
（説明内の画像は Windows Vista のものです。）

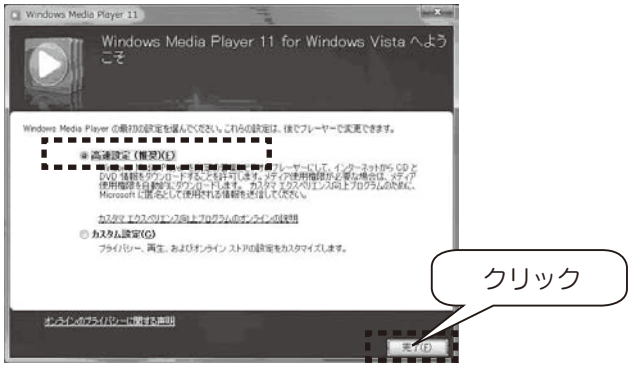
参考

Windows Media Player 11 は、Windows Vista に、標準でインストールされています。
Windows XP には、インストールされていません。Microsoft 社の Web ページからダウンロードしてインストールする必要があります。

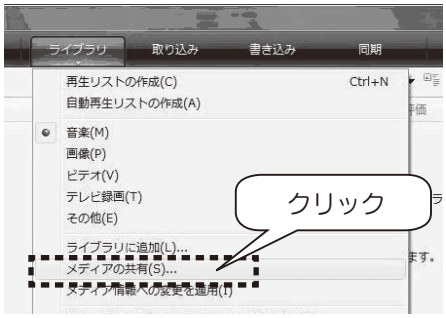
パソコン側の操作

1 Windows Media Player 11を起動します。

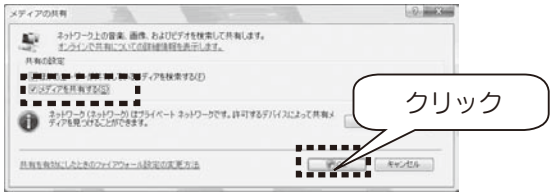
2［高速設定］を選び、［完了］ボタンをクリックします。



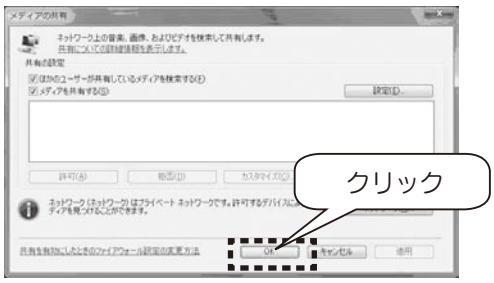
3［ライブラリ］→［メディアの共有］をクリックします。



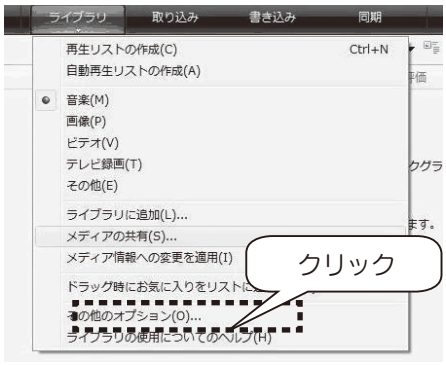
4［メディアを共有する］をチェックし、
［OK］ボタンをクリックします。



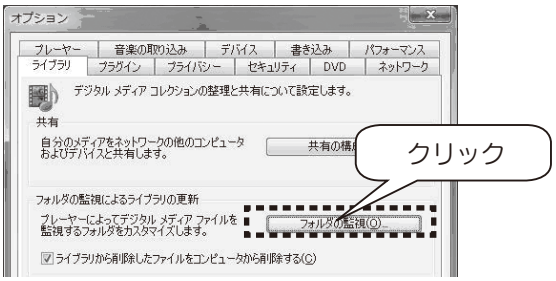
5［OK］ボタンをクリックします。



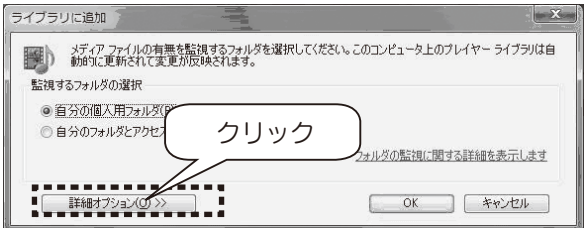
6［ライブラリ］→［その他のオプション］をクリックします。



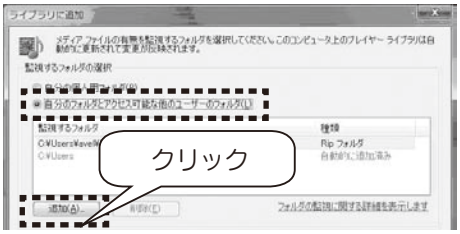
7 ［ライブラリ］-［フォルダの監視］をクリックします。



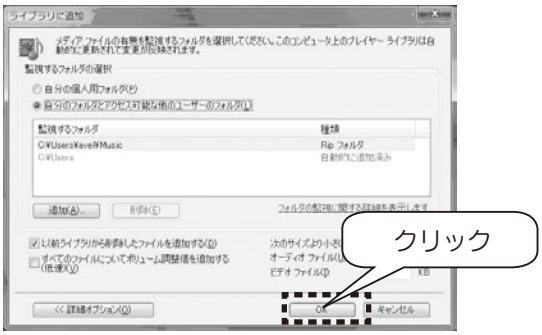
8 ［詳細オプション］ボタンをクリックします。



9 ［自分のフォルダとアクセス可能な他のユーザーのフォルダ］を選び、［追加］ボタンをクリックします。
本製品で再生するコンテンツを入れるフォルダを選び、［OK］ボタンをクリックします。



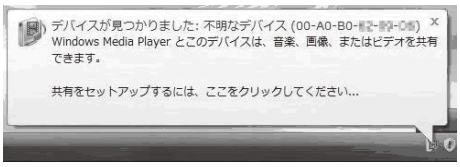
10 本製品で再生するコンテンツを入れるフォルダ選び、［OK］ボタンをクリックします。



11 Windows Media Player を終了します。

12 本製品の電源を入れます。

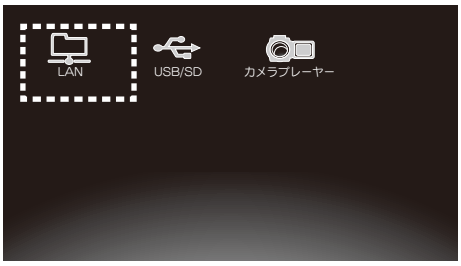
13 パソコンに下のようなポップアップが表示されたら、クリックします。



14［許可］ボタンをクリックします。
⇒ Windows Media Player をサーバーとして認識できるようになります。

サーバー（パソコン）の設定

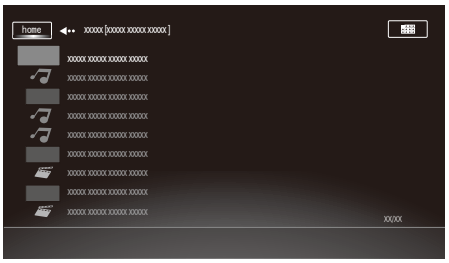
15 本製品のトップメニューから「ＬＡＮ」を選びます。



16 設定したメディアプレーヤーが表示されます

⇒ コンピュータ名はご使用のパソコンの「システム」（表示手順「スタートメニュー」→「コンピューター」を右クリックし、「プロパティ」を選択）から確認できます。
⇒ メディアライブラリ名は Windows Media Player のメディアストリーミングオプション（表示手順「ストリーム」タブ→「その他のストリーミング オプション（メディアストリーミング有効時のみ）」）から確認･変更ができます。

17 表示されたファイルから再生するデータを選択します。

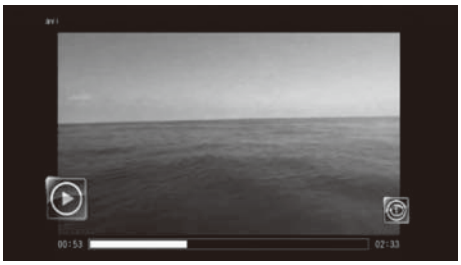


参考

表示方法を変更する
表示方法を変更することができます。
詳しくは【表示モードを変更する・・・38 ページ】を参照ください

18 再生を開始します。

⇒ 対応フォーマットのデータでも、ネットワーク環境やパソコンの処理状態により正しく再生できない場合があります。



メモ

Windows Media Player12 の設定をする

Windows Media Player 12 をサーバーとして使う方法を説明します。（説明内の画像は Windows 7 のものです。）

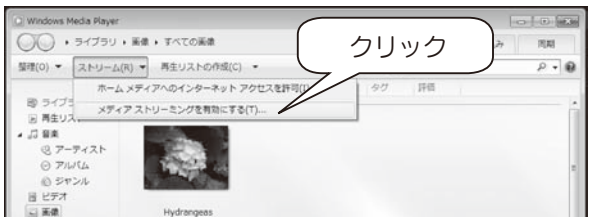
パソコン側の操作

参考 Windows Media Player 12 は、Windows 7 には、標準でインストールされています。
Windows Vista/XP には、インストールされていません。Windows Media Player 11 をご使用ください。

1 Windows Media Player 12を起動します。

参考 プレイビューモードで開いている場合
Windows Media Player をプレイビューモードで開いている場合は、右上隅にある [ライブラリに切り替え] ボタンをクリックします。

2 メニューバーの［ストリーム］をクリックし、
［メディアストリーミングを有効にする］をクリックします。



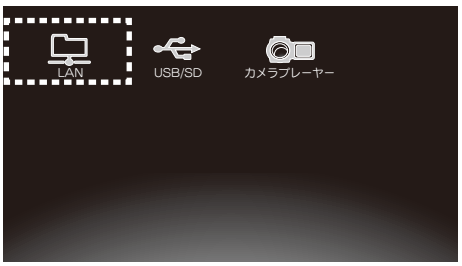
注意 ストリーム設定について
※ストリーミングが既に有効になっている場合は、［ストリーム］メニューの［メディア ストリーミングを有効にする］は使用できなくなっています。
※ネットワークの場所を設定していない場合や、ホームグループに接続していない場合は「ホームグループでのメディアストリーミングを有効にする」という表記になる場合があります。

3 ［メディアストリーミングオプション］→
［メディアストリーミングを有効にします］をクリックし、
[OK] をクリックします。

本製品の操作

4 本製品の電源を入れます。

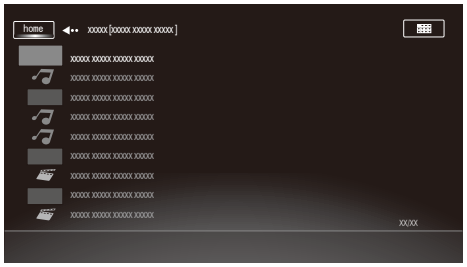
5 本製品のトップメニューから「ＬＡＮ」を選びます。



6 設定したメディアプレーヤーが表示されます。

⇒ コンピュータ名はご使用のパソコンの「システム」（表示手順「スタートメニュー」→「コンピューター」を右クリックし、「プロパティ」を選択）から確認できます。
⇒ メディアライブラリ名は Windows Media Player のメディアストリーミングオプション（表示手順「ストリーム」タブ→「その他のストリーミング オプション（メディアストリーミング有効時のみ）」）から確認・変更ができます。

7 表示されたファイルから再生するデータを選択します。

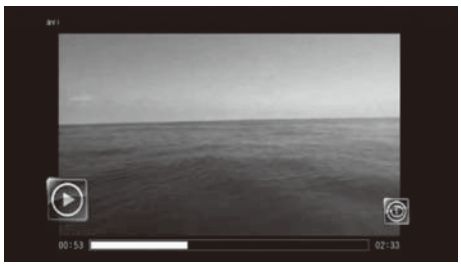


参考

表示方法を変更する
表示方法を変更することができます。
詳しくは【表示モードを変更する・・・38 ページ】を参照ください

8 再生を開始します。

⇒ Windows Media Player 12 ではご使用のパソコンのスペックに最適化した動画を配信するため、パソコンのスペック（Windows エクスペリエンスインデックス）により配信する動画の画質が落ちる場合があります。
⇒ 対応フォーマットのデータでも、ネットワーク環境やパソコンの処理状態により正しく再生できない場合があります。



リモート再生

本製品を Windows 7 で制御する

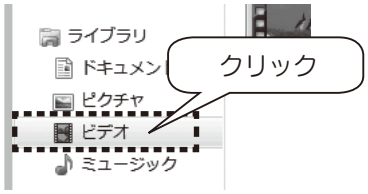
Windows 7 のパソコンを使って、Windows 上から本製品をネットワーク経由でリモート再生する方法を説明します。

注意 予め本製品の電源を入れ、トップメニューを表示した状態にしておいてください。

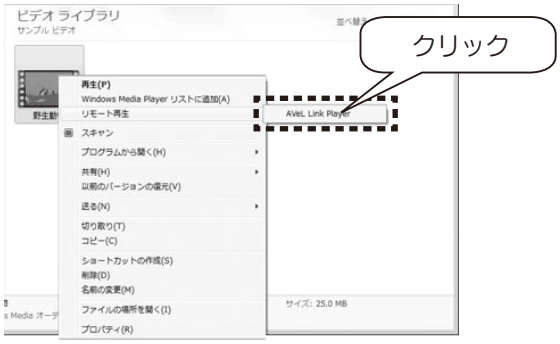
1 パソコンを起動し、Windows のスタートメニューから「すべてのプログラム」を選び、Windows Media Player12※を選んで起動します。

※ Windows 7 には、標準でインストールされています。

2 「ビデオ」をクリックしてビデオライブラリを開きます。



3 再生したいデータを右クリックして、「リモート再生」-「AVeL Link Player」を選びます。



4 本製品に接続されたテレビに選んだコンテンツが再生されます。

参考 ファイルを右クリックしても再生できます。
フォルダや「ビデオライブラリ」のデータだけでなく、他のフォルダやデスクトップ上に保存しているデータも再生可能です。
その場合は、データを選んで右クリックし、「リモート再生」に表示されている本製品を選択すると再生されます。

メモ

製品仕様

本製品仕様

有線 LAN	転送規格	10BASE-T/100BASE-TX
	コネクタ形状	RJ-45
	ポート数	2 系統
USB	転送規格	USB 2.0/1.1
	コネクタ形状	USB A タイプ
	ポート数	2 系統
SDカード	転送規格	SD、SDHC、Mini SD※1、Micro SD※1
	スロット数	1 系統
映像出力		1 系統
D映像出力		1 系統 (D4 出力対応、アナログ RGB 出力対応※2)
HDMI 出力		1 系統 (Ver.1.3a)
音声出力	アナログL／R	1 系統
	光デジタル	1 系統
IRオプションケーブル入力		1 系統※3
電源		AC100V ～ 50/60Hz
消費電力		15W(本体のみ)
使用温度範囲		5 ～ 35℃
使用湿度範囲		20 ～ 80%
外形寸法		約 260(W)x125(D)x43(H)mm(突起部含まず)
質量 (本体のみ)		約 930g
各種取得規格		RoHS、PSE
保証期間		1年間
付属品		・ACケーブル（1.5 m） ・AVケーブル（1.5 m） ・LANケーブル（2 m） ・リモコン※4 （2 台 ） ・動作確認用乾電池（単四形2本、単三形2本） ・取扱説明書 (本書) ・保証書

※1：別途専用アダプターが必要です。
※2：別途ディスプレイ出力変換ケーブル「MA-D2A」が必要です。
※3：別途 IR 受光部延長ケーブル「AV-LS500(IR)」が必要です。
※4：同梱のリモコンは複数のテレビメーカーに対応しておりますが、機種によりコントロールできない場合があります。

対応サーバー

対応サーバー※1	・Windows Media Player 12 対応 OS:Windows 7 ・Windows Media Player 11 対応 OS:Windows Vista / XP SP1 以降 ・DLNA 準拠サーバー

※ WM-DRM10 等の著作権保護されたデータは再生できません。
※お使いの DLNA 準拠サーバーにより配信可能なファイルが異なります。DLNA 準拠サーバーの仕様をご確認ください。

対応フォーマット

※対応フォーマットのデータでも、形式の作成方法やネットワーク環境などにより正しく再生できない場合があります。
※対応の拡張子でも、ご利用のサーバーにより配信されない場合があります。
※著作権保護されたコンテンツは再生できません。

＊動画＊

フォーマット			最小ビットレート	最大ビットレート	最大サイズ	再生可否				対応拡張子
映像	フレームレート (fps)	音声				DLNA サーバー (LANDISK)※2	Windows Media Player 11	Windows Media Player 12	USB	
WMV9 (VC-1)※1	30, 29.97	WMA9, WMA9 Pro	1Mbps	10Mbps	1920 × 1080	○	○	○	○	asf wmv
MPEG-2 PS	30, 29.97	MP2, LPCM	1Mbps	15Mbps	1920 × 1080	○	○	○	○	mpg mpeg m2p
MPEG-2 TS	30, 29.97	MPEG-2/4 AAC-LC, MP2	1Mbps	25Mbps	1920 × 1080	○	-	○	○	m2t
H.264 (MPEG-4 AVC)	30, 29.97	MPEG-4 AAC-LC	1Mbps	10Mbps	1920 × 1080	○	-	○	○	mp4
		LPCM Dolby Digital		24Mbps		○	○	○	○	m2t m2ts mts

※ 1：WMV7、WMV8 に対応しておりません。
※ 2：NAS(LAN DISK) の対応拡張子によっては、表示されない場合があります。
詳しくは、NAS(LAN DISK) の対応拡張子をご確認ください。

＊音楽＊

フォーマット	最小ビットレート	最大ビットレート	サンプリングレート	チャンネル数	再生可否				対応拡張子
					DLNA サーバー (LANDISK)※2	Windows Media Player 11	Windows Media Player 12	USB	
WMA9※1	64kbps	320kbps	44.1kHz 48kHz	2ch (量子化ビット 16bit)	○	○	○	○	wma
WMA9 Pro	128kbps	768kbps	48kHz	2ch (量子化ビット 24bit)	○	○	○	○	wma
MP3	64kbps	320kbps	44.1kHz 48kHz	2ch	○	○	○	○	mp3
MPEG-2/4 AAC	64kbps	448kbps		2ch	○	-	○	○	m4a

※ 1：WMA9、9.1、9.2 に対応 (lossless、Voice 除く)
※ 2：NAS(LAN DISK) の対応拡張子によっては、表示されない場合があります。
詳しくは、NAS(LAN DISK) の対応拡張子をご確認ください。

＊画像＊

フォーマット	最大表示解像度	再生可否				対応拡張子
		DLNA サーバー (LANDISK)※2	Windows Media Player 11	Windows Media Player 12	USB	
JPEG	8192 × 8192（6700 万画素相当)※1	○	○	○	○	jpg、jpeg

※ 1：次の 3 つのいずれかの条件を満たさない場合、最大解像度はこれより小さくなる場合があります。
(Color Space が YCbCr、非 Progressive mode、フォーマットが YUV420/YUV422/YUV444 である必要があります。 詳細は、ご利用のカメラメーカー様にご確認ください。)
※ 2：NAS(LAN DISK) の対応拡張子によっては、表示されない場合があります。
詳しくは、NAS(LAN DISK) の対応拡張子をご確認ください。

お問い合わせ

製品について

必ず以下の内容を ご確認ください

弊社サポートページのQ&Aを参照
➡ http://ww w.iodata.jp/support/

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

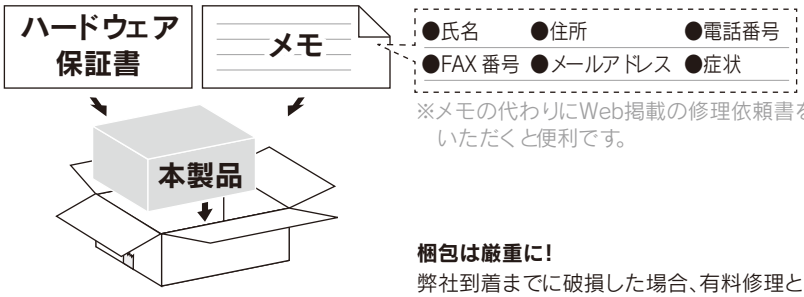
電話：東京　**03-3254-1036**　金沢　**076-260-3646**
FAX：東京　**03-3254-9055**　金沢　**076-260-3360**
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
インターネット：**http://ww w.iodata.jp/support/**

< ご用意いただく情報 >　製品名 /トラブルの内容

個人情報の取り扱い
ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービスおよび顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理

修理をご依頼さ れる場合は、以下の要領 でお送りください。



※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷してご利用いただくと便利です。

梱包は厳重に!
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

紛失をさける為 **宅配便・書留ゆうパック** でお送りください。

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

- ●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- ●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- ●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- ●保証内容については、保証規定に記載されています。
- ●修理をお送りになる前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は法令の範囲内でご利用ください。

6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft ,Windows および Windows Vista ロゴは、米国または他国における Microsoft® Corporation の登録商標です。
● Windows 7, Vista, XP, 2000 はそれぞれWindows® 7,Windows Vista®,Windows XP,Windows 2000 Operating systemの略称として表記しています。
● HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
● Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
● AVCHD および AVCHD ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の登録商標です。
● 本製品は、米国特許その他の知的財産権で保護されているコピー保護技術を組み込んでいます。
このコピー保護技術を使用するには、Rovi(旧 Macrovision) の承諾を得なければなりません。
Rovi(旧 Macrovision) の承諾を別途得ている場合を除き、このコピー保護技術は、家庭での使用その他限定的なテレビ視聴での使用を意図しています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブリは、禁止されています。This product incorporates copyright protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision,and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by MacrovisionI. Reverse engineering or disassembly is prohibited.
● DigiOn、DiXiM は株式会社デジオンの登録商標です。
● 本製品は DynaFont を使用しています。Dynafont は DynaComware の登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
● 仕様および外観は製品改良のために予告なく変更されてることがあります。

AV-LS700B 取扱説明書　　2010.9.2
発行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒 920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目８４番地

©2010 I-O DATA DEVICE,INC. All Right Reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目８４番地
ホ ー ム ペ ー ジ：**http://www.iodata.jp/support/**

●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●
金　沢／**TEL.076-260-3646　FAX.076-260-3360**
東　京／**TEL.03-3254-1036　FAX.03-3254-9055**
TEL受付時間／9：00～17：00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）